

全国でアクション中!

ミズベリング 全国展開!!



2016.3.3 MIZBERING JAPAN



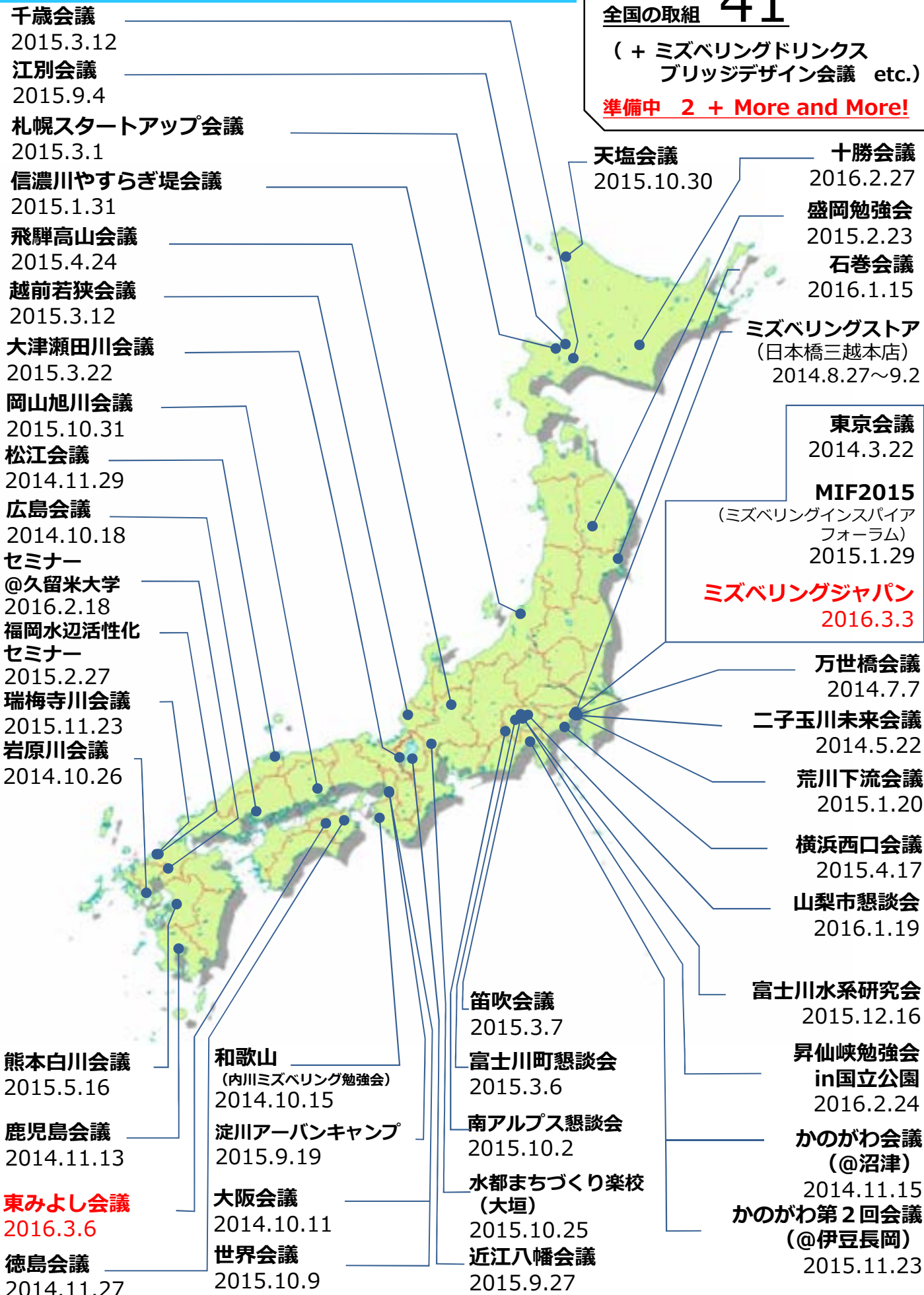
ミズベリング "全国展開"

平成28年3月1日現在

全国の取組 **41**

(+ ミズベリングドリンクス
ブリッジデザイン会議 etc.)

準備中 2 + More and More!



目次

■ 札幌会議（2015年3月1日開催）	1
■ 千歳会議（2015年3月12日開催）	2
■ 江別会議（2015年9月4日開催）	4
■ 天塩会議（2015年10月30日開催）	6
■ 十勝会議（2016年2月27日開催）	8
■ 盛岡勉強会（2015年2月23日開催）	9
■ 石巻会議（2016年1月15日開催）	10
■ 東京会議（2014年3月22日開催）	11
■ インスパイア・フォーラム（2015年1月29日開催）	12
■ ミズベリングストア（2014年8月27日から開催）	13
■ 荒川下流会議（2015年1月20日開催）	14
■ 二子玉川未来会議（2014年5月22日開催）	16
■ 横浜西口会議（2015年4月17日開催）	17
■ 信濃川やすらぎ堤会議（2015年1月31日開催）	18
■ 越前若狭会議（2015年3月12日開催）	20
■ 富士川町懇談会（2015年3月6日開催）	22
■ 笛吹会議（2015年3月7日開催）	24
■ 南アルプス懇談会（2015年10月2日開催）	26
■ 富士川水系研究会（2015年12月16日開催）	28
■ 山梨市懇談会（2016年1月19日開催）	30
■ 昇仙峡勉強会 in 国立公園（2016年2月24日開催）	32
■ かのがわ会議（沼津）（2014年11月15日開催）	34
■ かのがわ会議（伊豆長岡）（2015年11月23日開催）	
■ 飛騨高山会議（2015年4月24日開催）	36
■ 大津瀬田川会議（2015年3月22日開催）	37
■ 近江八幡会議（2015年9月27日開催）	38
■ 大阪会議（2014年10月11日開催）	40
■ 世界会議（2015年10月9日開催）	42
■ 淀川アーバンキャンプ（2015年9月19日開催）	44
■ 松江会議（2014年11月29日開催）	46
■ 岡山旭川会議（2015年10月31日開催）	48
■ 広島会議（2014年10月18日開催）	49
■ 徳島会議（2014年11月27日開催）	50
■ 東みよし会議（2016年3月6日開催予定）	52
■ 福岡水辺活性化セミナー（2015年2月27日開催）	53
■ ミズベリングセミナー@久留米大学（2016年2月18日開催）	54
■ 瑞梅寺川会議（2015年11月23日開催）	56
■ 岩原川会議（2014年10月26日開催）	57
■ 熊本白川会議（2015年5月16日開催）	58
■ 鹿児島会議（2014年11月13日開催）	60

- 活動している水辺：豊平川ほか、札幌市内の水辺
- 第1回開催状況：平成27年 3月1日（日）70人参加

さっぽろテレビ塔に集結したミズベリスト達！札幌のミズベの未来像を語り合いました！



豊平川で、こんなことしたい！

- 市街地の近くでバーベキューをやりたい！
- 正しい火の使い方や、ゴミの持ち帰り等、マナーを学ぶ場にもしたい！

話題提供：

- ・柴田寿治 氏（寿珈琲 店主）
- ・鈴木玲 氏（手稲さと川探検隊 局長）
- ・武市毅 氏（札幌市環境局みどりの推進部みどりの活用担当課審査指導係長）
- ・三上貴史 氏（NPO法人ポロクル 事務局）&齋藤大樹 氏（ポロクルクルー）

できることからコツコツと…

■豊平川河川清掃 H27.5.2(土)

「スタートアップ会議」に参加したコアメンバー（札幌大通まちづくり株式会社、札幌オオドオリ大学等）らと共に豊平川河川清掃。実際に河川敷を歩きながら、河川敷の利用面でのルールを考えました。



■タナバタイム@創成川 H27.7.7(火)



■河川清掃+α H27.10.3(土)

NPO法人グリーンバードと共同で豊平川河川清掃+カレーを食べる会を開催。河川清掃+αで人を呼び込むプランを試行し、魅力あるプログラムとなり得る感触を得ました。



水辺の豊かな時間を見直し、水辺好きの輪を広げて、水辺のムーブメントを創造するために、これからも様々な活動を展開していきます。

■主催者：札幌大通まちづくり株式会社、札幌開発建設部

■問合せ先：北海道開発局札幌開発建設部 河川計画課 熊木 [TEL：011-611-0329]
 ・E-mail：kumaki-t22aa@mlit.go.jp

- 活動している水辺：千歳川
- 第1回開催状況：平成27年 3月12日（木）65人参加

千歳青年会議所は、北海道千歳市の地域資源である清流『千歳川』に常設型オープンカフェの実現を目指し、2014年に10年後の常設化を見据えた『CHITOSE RIVER CITY PROJECT』をスタート。

千歳川の魅力を活かしたまちづくりの方向性を探るため、主催する千歳青年会議所など市内外の関係団体と共に、第1回目のミズベリング千歳会議でワークショップを開催。たくさんの人に千歳川にもっと関心を持ってもらおう、愛着を持ってもらおうと参加者からアイデアを出してもらい『千歳川の未来図』を完成させた。



10年後の、オープンカフェ常設を目指して・・・



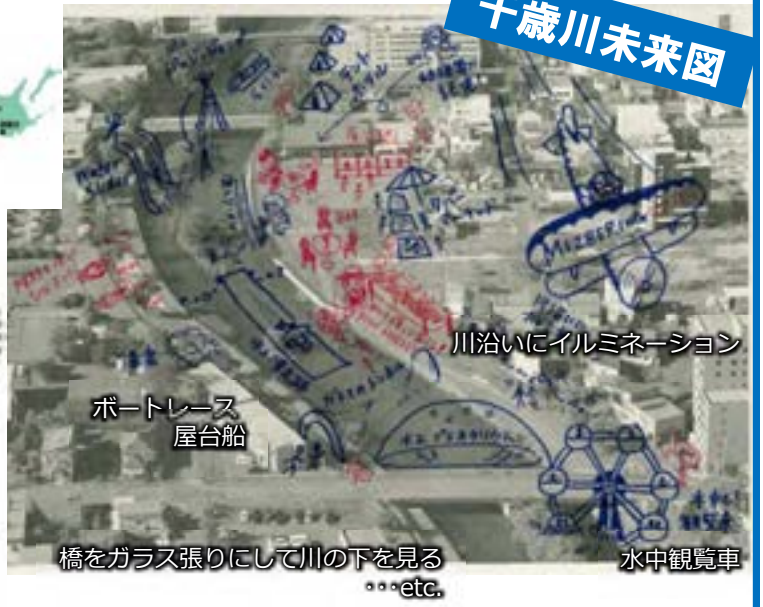
空が結ぶまち千歳・水が繋ぐまち千歳

千歳市は北海道の空の玄関、新千歳空港を擁する人口約10万人のまちです。支笏湖から市街地中心部を流れ、農村地区を潤している清流千歳川は、千歳市の3つのエリアをつなぐ象徴的な存在です。



図：千歳市泉沢向陽台HP掲載図一部改変

千歳川未来図



CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2015

2015.7.19-20



写真：(一財)石狩川振興財団提供

『CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2015』

開催日：2015.7.19-20

開催場所：千歳川河畔公園・河川敷

来場者：約10,000名

2年目を迎え、昨年比2倍！

内容：JAZZ・ポップスなど音楽ライブ
プロジェクションマッピング
千歳川清流下り(エコラフティング)
約20店舗のカフェなど

後援・協力：千歳市・(一社)千歳観光連盟・
北海道開発局札幌開発建設部 他

H P: <http://chitose-jc.com/crcp.html>



■主催者：(一社)千歳青年会議所、札幌開発建設部千歳川河川事務所

■問合せ先：一般社団法人千歳青年会議所 [TEL：0123-24-6868]

- E-mail：mail@chitose-ic.com
- ホームページ：<http://chitose-ic.com/>
- Facebook：<https://www.facebook.com/chitose.rcp/>

- 活動している川：石狩川、千歳川
- 第1回開催状況：平成27年9月4日（金） 20人の参加

川が好きの人、川と接したい人、川を利用したまちづくりしたい人などが、江別を中心に集合。みんなのアイデアがどんどん巻物になるという斬新な進め方。できることから始めようを合い言葉に展開しています！



石狩川と千歳川の合流点



アイデアをその場で絵にすることで案が具体化し、わくわく感とスピード感を持って実行に移せます！



アイデアが見える化した絵巻物（抜粋）



かつて船運で賑わっていた江別市の条丁目地区には、歴史的な建造物が建ち並び情緒ある風景だが、人々は離れ、空家が目立ってきています。

私たち江別のミズベラーは、かつて賑わっていた街並みの復活・再生を目的に、水辺を中心とした「水とまちの回遊性を高めたい」と立ち上がり、活動を始めました。

水辺の活用など、様々なアイデアの中から、短期的に出来ること、中長期的に進めていくことなどに分け、出来ることから進めています。

活動状況

9月4日
第1回 ミーティング
水辺の活用企画案①
 水辺活用の意見やアイデアが次々と巻物絵になっていく



9月26日
実証実験①
水辺に本屋さんを開催
 地元からアンコールの声 札幌から来る人も…



10月2日
第2回 ミーティング
水辺の活用企画案②
 活動内容(案)について、短期、中長期に分けて整理



10月24日
実証実験④
船に乗って
「川のコンテンツ探し」



10月10日
実証実験②
世界とつながる(バンコク・トロント)
 世界大会(大阪)に合わせて江別でも海を超えて自分の街を語り合う



10月11日
実証実験③
水辺でピザパーティー
 江別レンガでピザ窯設置



11月15日
第3回ミーティング
 コンテンツを踏まえた活動目的と方向性の決定
 ・河川整備との整合を図った活動拠点の形成
 ・江別水辺マップの制作



12月9日
第4回ミーティング
河川事務所に聞いてみよう
 活動拠点となる地区は、今後河川整備(堤防整備)が予定されていることから、河川事務所と河川に隣接する空間利用などについて協議



アイデアが見える化した絵巻物(抜粋)



■主催者：ミズベリング江別（NPO法人えべつクリエート、江別河川事務所）

■問合せ先：林匡宏 [TEL：090-6966-9606]

- 活動している水辺：天塩川下流（河川公園等）
- 第1回開催状況：平成27年 10月30日（金）49人参加

てしお
最北の大河「天塩川」の河口の町「天塩町」
雄大な天塩川の流れと自然味あふれるマチ

利尻富士の夕景

天塩町

さいほく
彩北のマチへ
ようこそ！

てしお仮面

人口3,300人の小さなマチで... **全国初！**

活気あふれる**高校生と、**
天塩川の水辺を活用して
新たな**にぎわい**を生み出すための
アイデア会議を開催！

↑アイデア続々、天塩高校生のWSの様子

豊かな自然を求めて
天然記念物の渡り鳥たちが
やってくる

オジロワシ

「幻の魚」
日本最大の淡水魚
イトウが住む川

天塩を代表する
しじみブランド

てしお川港まつり

会議の成果

利尻富士、天塩川、
日本海をバックに
映画撮影

プラネタリウム、
マリンスポーツなど
**若者が集まれる
場所を！**

絶景の**夕日**
デートスポット

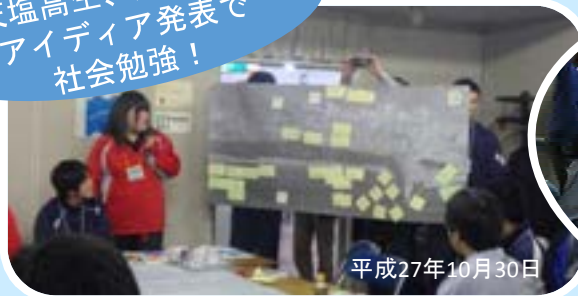
天塩川にも
**ラバーダックを
浮かせよう！**

ライトアップ、
水上カフェなど
**天塩にも都会的
な魅力を！**

ミズベリング×高校生×かわまちづくり＝

世代を超えたマチと水辺の活性化 **!!**

天塩高生、天塩会議
アイデア発表で
社会勉強！



平成27年10月30日



住民の皆さん
水辺で乾杯！



平成27年7月7日

天塩高生、
河川清掃で
社会貢献も！



毎年7月の河川愛護月間

アイデア
まちづくりに若者の発想を活かし、
世代間のつながりで
町のにぎわいを取り戻そう！

今後は、天塩町フェスタで音楽祭、
若い感性による町の歴史・魅力の新発見
などなど…ますますの展開に期待！

住民の手づくり
天塩町PR
マンガパンフ



天塩かわまちづくり



河川公園で
老若男女が集う
天塩町フェスタ



平成27年8月30日

北海道新聞1月8日掲載(北海道新聞提供11318)

■主催者：天塩かわまちづくり検討会

■問合せ先：天塩町 企画商工課 観光係 [TEL：01632-2-1001]

・E-mail：syokou@teshiotown.com

・ホームページ：http://www.teshiotown.hokkaido.jp/?page_id=5128

・Facebook：【天塩かわまちづくり検討会 | Facebook】



ミズベリング十勝会議

北海道

十勝

- 活動している水辺：十勝川、札内川、帯広川
- 第1回開催状況：平成27年 8月7日（金）18名参加
- 第2回開催状況：平成28年2月27日28日 約70名参加予定

第1回ミズベリング十勝会議は、水辺をこよなく愛する民間事業者により、Facebook上での呼びかけ開催することとなった。参加者は、クリエイター、経営者、NPO、メディア、行政、水辺好き、自転車好きの総勢18名。（H27.8.7「ミズベリング十勝」発足）

シンボル”ロゴ”制作 プレスト



十勝魅力再発見 プレスト



LOGO#1



LOGO#2



LOGO#3



LOGO#4



- LOGO#1 ミズベリング十勝のオフィシャルロゴマーク・北海道の河川「清流」をモチーフに表現
- LOGO#2 ミズベリングプロジェクト全体のトーン&カラーに合わせる場合のオフィシャル用ロゴマーク
- LOGO#3 ミズベリング十勝においてイベントやアクティビティなどで使用する場合のロゴマーク
- LOGO#4 ミズベリング十勝で歴史や伝統をテーマにする場合のロゴマーク・アイヌ文様をモチーフにワッカ*を表現
*アイヌ語で“ワッカ”=湧水



帯広川イカダクルーズ
今夏 開催予定！
(モニターテスト中)

■主催者：
ミズベリング十勝

第2回ミズベリング十勝会議は、ガーデンズ十勝川温泉のオープン（H28.10）控え、十勝川温泉事業者、音更町十勝川温泉観光協会、音更町の思いにより、“水辺の観光資源を活かした地域の未来創生”をテーマとして会議開催する予定です。2日間にわたり、十勝の寒さを吹き飛ばす熱いトークと冬の魅力を活かした水辺体験を行います。

水辺
体験

とがちのトップミズベラーが集結！
東京×十勝のパネルディスカッションは必見！

東京参入

水辺
体験



遙か遠く旅をしてきた渡り鳥たちが今年もここにやってくる
～TOKACHI WINTER RIVER CRUSING（Eボード川下り）～



ここでしか
食べられない
食材があります

雄大な十勝川の河原を犬ぞりで駆け巡り水辺で優雅にTeaTime
～犬ぞりカフェ～（モニターテストを行います）

■主催者：音更町（水辺体験の主体：ミズベリング十勝）

■問合せ先：株式会社 サムライブロデュース [TEL：0155-66-4006]

- ・E-mail：nisiwaki@samuraiproduce.com
- ・ホームページ：なし
- ・Facebook：ミズベリング十勝

■活動している水辺：中津川

■第1回開催状況：平成27年 2月23日（月）60人参加

【川のまち盛岡】

岩手県盛岡市は、市内を北上川・雫石川・中津川などの川が流れる「川のまち」であり、特に中津川は市の中心部を流れ、古くから川に親しんできた川のまちです。



【ミズベリング勉強会の開催】

この中津川において、更なる賑わいの創出を目指し、平成27年2月23日「ミズベリング盛岡勉強会」を開催し、各地での取り組み状況や盛岡での今後の可能性などについて話し合いました。



【勉強会後の取り組み】

盛岡の夏の風物詩を目指す新たな取り組みとして、平成27年7月下旬から8月上旬の7日間限定で、盛岡市と市内の団体などで構成する実行委員会の企画による「中津川納涼棧敷」の取り組みが実施されました。

中津川河川敷を会場に、川のせせらぎの中で特製の料理や地酒、盛岡芸妓らの舞を堪能する企画に、県内外から多くの方が参加され楽しいひとときを過ごされました。



■主催者：岩手河川国道事務所

■問合せ先：盛岡市商工観光部観光課 [TEL：019-626-7539]

- E-mail：kankou@city.morioka.iwate.jp
- ホームページ：www.odette.or.jp
- Facebook：ja-jp.facebook.com/moriokashi

- 活動している水辺：北上川、旧北上川、北上運河
- 第1回開催状況：平成26年 12月18日（金）26人参加

「ミズベリング石巻」では、北上川、旧北上川、石井閘門等の水辺空間を活用したミズベリングに興味のある方を集め意見交換を実施しています。

平成27年6月27日に、社会実験第1弾となる「みずべマルシェin北上川」を開催しました。今後も会議を重ねながら“ミズベ”を活用した楽しいイベントを開催します！

ミズベリング石巻の活動実績（平成27年度）

H26	12月18日	第1回会議	参加者：26名（11団体）
H27	1月29日	第2回会議	参加者：35名（16団体）
	2月16日	第3回会議	参加者：48名（27団体）
	3月27日	第4回会議	参加者：24名（14団体）
	5月22日	第5回会議	参加者：23名（13団体）
	6月27日	みずべマルシェin北上川	参加者：150名
	7月 7日	水辺で乾杯！	参加者：38名
	8月13日	小さなサーカス	
	8月22日	中瀬 de BBQ	
	8月23日	トリコローレ音楽祭	
H28	1月15日	ミズベリング石巻カイギ	参加者：40名



会議（カイギ）では毎回多様な団体の方が参加して活発に意見交換



堤防完成後をイメージしながら地域の方と川沿いを歩きました



トリコローレ音楽祭、音楽と水辺の相性は抜群



小さなサーカス、子ども達に元気をあげた

「みずべマルシェin北上川」開催概要

日時：平成27年6月27日（土）13時～17時
 ※6月28日（日）は降雨により中止
 会場：旧北上川 石井閘門周辺
 主催：みずべマルシェ実行委員会



今後も“ミズベ”を活用した楽しいイベントを開催します！



雨にもかかわらずカヌー体験は人気



開催前には地元の方々とごみひろい



水辺とカフェは“マッチ”



DJは子供達に人気



水辺でBBQができることを知ってほしい

■主催者：みずべマルシェ実行委員会；（NPO法人ひたかみ水の里（河川協力団体））

■問合せ先：東北地方整備局 北上川下流河川事務所 調査第一課 [TEL：0225-94-9847]

・ホームページ：http://www1a.thr.mlit.go.jp/Bumon/J74201/homepage/mizbering/mizbering.html

・Facebook：ミズベリング石巻のフェイスブックは、右記のQRコードからアクセス→





ミズベリング東京会議

東京都
墨田区

- 開催場所：日本全国（すみだリバーサイドホール）
- 開催状況：平成26年3月22日（土） 約200名参加

○水辺とまちの未来のかたちをデザインし、持続可能な未来の創造に貢献するための『水辺とまちの未来創造プロジェクト』※1の活動の一環として実施した、『水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会（座長：陣内秀信 法政大学デザイン工学部教授）』を発端に、市民・企業・行政が三位一体となり柔軟につながる“水辺の未来創造型連携プラットフォーム”となるよう「ミズベリング・プロジェクト」を立ち上げました。



ミズベリングディスカッション

○その活動のスタートアッププログラムとして、水辺とまちの未来を語る『ミズベリング東京会議』を開催しました。



水辺の未来図ワークショップ

○水辺の未来について語り合い、その場に出てきた意見を即座にスクリーンにスケッチし、「水辺の未来図」を参加者全員で共有しました。



参加者のアイデアを集約した「水辺の未来図」

※1「水辺とまちの未来創造プロジェクト」とは
防災・減災対策や社会資本の老朽化対策と一体となって、地域を代表する川と周辺の街並みが一体となって美しく風格のある空間を形成することを目的に、①まちにある川や水辺空間の賢い利用、②民間企業等の民間活力の積極的な参画、③市民や民間を巻き込んだソーシャルデザインの3つを基本コンセプトとして、水辺とまちの未来のかたちをデザインし、持続可能な未来を創造するプロジェクトです。

■主催：ミズベリングプロジェクト事務局

■問合せ先：ミズベリングプロジェクト事務局【TEL：03-6441-8756】

- E-mail：contact@mizbering.jp
- ホームページ：<http://mizbering.jp/>

- 開催場所：日本全国（日本橋三井ホール）
- 開催状況：平成27年1月29日（木） 約230名参加

○全米で最も住みたいまちNo.1といわれ、世界の注目を集めるポートランドに学ぶ日本の水辺の創造「ミズベリング・インスパイア・フォーラム」を開催しました。

○先進的なまちづくり手法の秘訣に迫り、日本の水辺の可能性を浮かび上がらせるため、日本の現状を突破する“対話力”を実感・体験し、今後の具体的な動きのヒントを共有しました。



<主な意見>

- ・「前向きな連鎖」が印象的だった。はじめないといけない。
- ・官民一体で成り立つコミュニケーションのあり方をドカーンと示してくれました。
- ・やはり、水辺が変わればこんなに良くなるのビジョン共有は、とても重要だと感じます。
- ・そこにいる一人一人が自分をしっかり出してフラットに話し合い、共通の何かを見いだす課程がとても大事なんだと改めて痛感。

■主催：ミズベリングプロジェクト事務局

■問合せ先：ミズベリングプロジェクト事務局【TEL：03-6441-8756】

- ・E-mail： contact@mizbering.jp
- ・ホームページ： <http://mizbering.jp/>



ミズベリングストア

東京都

中央区

- 開催場所：日本橋三越本店7階 はじまりのカフェ（Hajimarinno Café）
- 開催状況：平成26年8月27日（水）～9月2日（火） 約950名の来場者

- 日本橋三越本店7階にあるライフスタイル提案スペース「はじまりのカフェ」とミズベリングプロジェクトとのコラボレーションで実現しました。
- 新しい水辺の過ごし方、楽しみ方、味わい方を提案する期間限定の実験店舗であり、日本橋三越の腕利きバイヤーたちがミズベリングをコンセプトにセレクトした多彩なグッズの販売や、ミズベリングカルチャー教室が開催されました。



<百貨店従業員の主な意見・感想>

- ・街と川を通してつながっていける可能性が見えた。ミズベリングとのコラボでそれが可能になれば嬉しい。
- ・街について考える時に新たに“水辺”という視点が加わったことでいろいろな広がりにつながると感じた。
- ・オリジナルでぬぐい、人気。（柄、色使いがさりげなく可愛くて新鮮）
- ・川辺での昔の思い出話をされている老夫婦がいらっしやった。（今は、川との距離が離れてしまった。）



■主催：ミズベリングプロジェクト事務局

■問合せ先：ミズベリングプロジェクト事務局【TEL：03-6441-8756】

- ・E-mail：contact@mizbering.jp
- ・ホームページ：<http://mizbering.jp/>

■活動している水辺：荒川下流

■概要：東京大学の知花准教授を座長に迎え、荒川下流におけるミズベリングを目的に、各会議で検討テーマを設定し、多様なメンバーによる意見交換を実施。

■第1～4回開催状況：平成27年 1月20日、2月24日、6月29日、平成28年 1月21日

第1回ミズベリング荒川下流会議

平成27年1月20日(火)

会議荒川下流全域を対象に水辺の賑わいの創出について意見交換。

参加自治体(6)

参加企業(11)



第2回ミズベリング荒川下流会議

平成27年2月24日(火)

荒川の河川敷にある公園をテーマに水辺の賑わいの創出について具体的に意見交換

参加自治体(1)

参加企業(7)

第2回に参加した「ミズノ株式会社」が、足立区のイベントに参画



第3回ミズベリング荒川下流会議

平成27年6月29日(月)

舟運等により今後更なる賑わいの可能性がある荒川ロックゲート周辺地区を対象として、水辺の賑わいを創出する取り組みについて意見交換。

参加自治体(3)

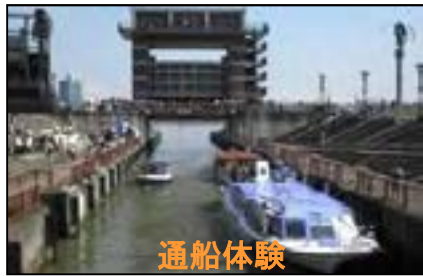
参加企業(12)

第3回に参加した「株式会社はとバス」による防災船着場利用に向けた社会実験を活用した企画



荒川ロックゲートフェスとミズベリング社会実験

平成27年9月19日(土)に、荒川ロックゲート周辺にて「防災の第一歩は水辺に集い親しむことから」をテーマに、荒川ロックゲート完成10周年記念イベントおよび民間事業者7団体によるミズベリングの社会実験を実施。当日は晴天に恵まれ、9,200人が来場。



公募により選定された民間事業者における社会実験の実施状況



第4回ミズベリング荒川下流会議

平成28年1月21日(木)

「荒川における水辺の夜間景観」をテーマに、旧岩淵水門、岩淵リバーステーション周辺を対象として意見交換。

参加自治体(1)

参加企業(7)

参加学生(10)



荒川ライトアップ

いつおこるかわからない災害に備え、日常では訪れる人の少ない夜の荒川を、地域の方に体験してもらうため、防災イベント「荒川ライトアップ」を開催。

平成28年2月27日(土)10時~20時

メイン会場:足立区都市農業公園前河川敷

第4回会議で出されたイベントで実施可能なアイデアについて、実験的な取り組みを実施。



■主催者：荒川下流河川事務所

■問合せ先：荒川下流河川事務所 地域連携課 03-3902-8745

・ホームページ：<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

■活動している水辺：多摩川・野川・仙川等（二子玉川地区）

■第1回開催状況：平成26年 5月22日（木）60人参加

「地域で暮らし・働き・楽しむ人々自身による、
世界に誇るアーバンミズベリゾート
「二子玉川」の活用と発信」をミッションに、
楽しくマジメにミズベしてます！

都心から15分で到着する自然河川・多摩川に面する街、二子玉川。
そんな私たちの母なる川、多摩川を愛し、楽しみたい人たちが集い、
未来の「フタコのみずべ」の姿を想像し、語り、楽しんでいます！

地元町会・NPO等

（玉川町会・二子玉川エリアマネ
ジメンツ・NPO法人せたがや水辺
デザインネットワーク等）

「つどう」

- ・ミズベリングニコタマ会議実施
- ・ブリッジデザイン会議の開催



「ひろめる」

- ・ミズベ活用のイベント開催
（SUP体験会・ミズベ勉強会・
ミズベリングライフジャケットプロジェ
クト(coming soon!)等）



地元企業

（東急電鉄・東神開発等）



行政

（世田谷区・国交省等）

「たのしむ」

- ・ミズベリングドリンクス・ビアピック
ニック・「水辺で乾杯！」の開催
- ・多摩川源流ウォーキング、大山道
ウォーキングの開催



随時情報発信中！詳しくは

ミズベリング二子玉川未来会議

検索

へ！

■主催者：ミズベリング二子玉川未来会議

■問合せ先：ミズベリング二子玉川未来会議 代表 坪田 哲司

・E-mail：tetsuji.tsubota@gmail.com

・Facebook：https://www.facebook.com/mizberingnikotama

- 活動している水辺：帷子川（幸川、新田間川）
- 第1回開催状況：平成27年 4月17日（金）70人参加

横浜駅西口エリアの貴重な資源である帷子川、幸川、新田間川を活用して地域の魅力を高めていくため、これまで4度会議を開催し、延べ200名の参加者の方々から多くのアイデアが集まりました。

そのアイデアの中から、実現できることを少しずつ始めております。

平成27年に横浜西口夏まつりでのSUP体験やミニ水族館、冬に新田間川でイルミネーションの装飾を実現してまいりました。

今後は横浜市の将来のまちづくり指針である「エキサイトよこはま22」にも掲げられている親水空間を形成していくために、ミズベリング横浜西口会議でもできることを、ということで現在「グリーンリバープロジェクト」と称して、まずは帷子川、幸川、新田間川の基礎環境調査を実施しています。

今は川に背を向けている横浜西口のまちが、いつかヴェネチアみたいな水の都になる日を夢見て、活動してまいります。ご興味のある方はぜひご連絡下さい！



■主催者：横浜西口元気プロジェクト実行委員会（横浜西口商和会商店街、西口幸栄商店会、横浜駅西口五番街商店会協同組合、パルナード管理協議会、北幸自治会、南幸自治会、横浜市西区役所、相鉄ホールディングス株式会社、株式会社相鉄アーバンクリエイティブ（事務局））

■問合せ先：横浜西口元気プロジェクト実行委員会事務局（㈱相鉄アーバンクリエイティブ内）
 [TEL：045-316-3139] 担当：友田、宮本
 ・E-mail：tomota_y@sotetsu-group.jp
 ・Facebook：https://www.facebook.com/YOKOHAMANOMIZUBE.WEST

- 活動している水辺：信濃川下流 やすらぎ堤
- 第1回開催状況：平成27年 1月31日（土）120人参加

信濃川のやすらぎ堤は、全国で初めて5割勾配の緩やかに整備された堤防で、一体で整備した公園緑地と合わせ、新潟中心市街地における水辺の憩いの場となっています。

会議では『みんなでえがこうやすらぎ堤の未来』をテーマに、アイデアや意見を交換し、やすらぎ堤の魅力を再確認するとともに、新たな活用について、様々な利用者が連携し積極的に挑戦していくことを誓いました。

会議後、有志により「ミズベリングやすらぎ堤研究会」を設立、さらなる賑わい創出に向け取り組み中。



- 日時 平成27年1月31日（土） 13:30~17:30
- 会場 NSTゆめホール
- 第1部 「まなぶ」先進事例基調講演 泉 英明（水都大阪パートナーズプロデューサー）
- 第2部 「かたる」やすらぎ堤を使い、愛するパネラーによるプレゼンテーション
パネラー・行政・会場参加者で“やすらぎ堤の未来”を討論
コーディネーター 岩佐 明彦（当時：新潟大学工学部建設学科准教授）
（現在：法政大学デザイン工学部建築学科教授）
パネラー 鈴木寿行、肥田野正明、小林和人、逸見覚、馬場伸行、久保田健司
- 第3部 「つながる」交流会



鈴木寿行氏

萬代橋が見える場所を活かさない手はない。体感すればやすらぎ堤の良さはわかる。



肥田野正明氏

「まちなかアウトドア」を実施。大盛況。市民の想いがこもった夢を実現したい。



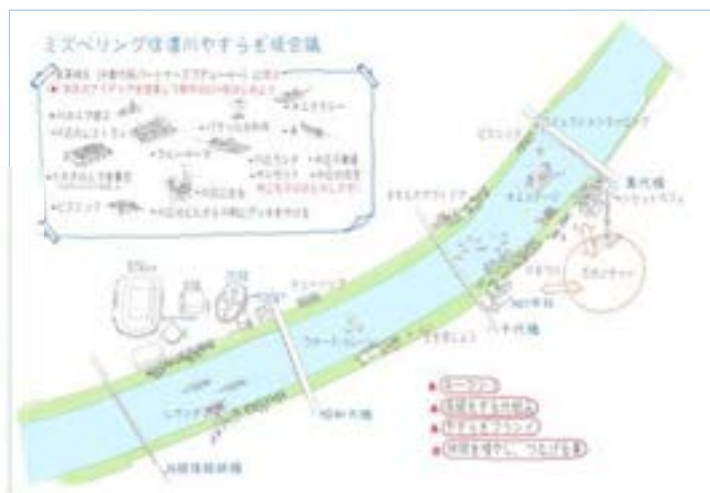
パネルディスカッションの状況



思いを語るパネラー



“まちなかアウトドア”の実施状況



様々なアイデアが形になりました

■ 新潟中心市街地の憩いの場となっているやすらぎ堤



“信濃川やすらぎ堤川まつり”



“萬代橋サンセットカフェ”



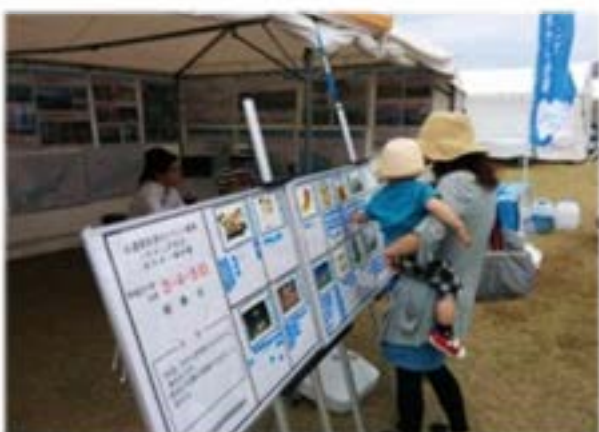
“まちなか子どもピクニック”



“新潟まつり花火大会”



“ 7.7 水辺で乾杯！ ”
（やすらぎ堤とその周辺併せて約500人が乾杯）



“やすらぎ堤総選挙”なる利用ニーズ調査
（総数921票のうち32%がカフェ関係に投票）



“萬代橋橋詰のにぎわいエリア”の整備イメージパース

■主催者：新潟市、信濃川下流河川事務所

■問合せ先：北陸地方整備局信濃川下流河川事務所事業対策官 [TEL：025-266-7131]

- E-mail：hrr-306001@mlit.go.jp
- ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/
- Facebook：www.facebook.com/mizberingyasuragitei



ミズベリング越前若狭会議

福井県

福井市

- 活動している水辺：日野川、足羽川等（福井県内の河川すべて）
- 第1回開催状況：平成27年 3月12日（木）124人参加



MIZBERING

KICK OFF!!!

3.12 2015

ACTION

in 2015

ECHIZEN

WAKASA



Mission 会議（各流域のアイデアスパーク&アクション）



HINO

おしゃべりな
リ・BAR



ASUWA
mission

04.28
08.17
12.01
12.21



WAKASA
mission

10.05
11.26
12.17
01.21



other...
mission



other...
mission



other...
mission

Coffee Wine Bar OPEN!!!
IITERRACE

MIZBERING

2nd STAGE!!!

3.17 2016



日本人も外国人も、BBQ、カフェバー、イベントがある水辺空間が好き。いつもの空間を少しだけ演出することで、「ハレ」に変化する。時には七輪で和風に、時にはポートでアクティブに楽しめる。そんな景観がたまらなくて水辺に人が集まる。

ミズベリングで商工企業が、大学が、流域住民が、行政もが本気でリバービジネスを始めた。

水辺をプラットフォームに少子化・定住化対策を、田舎ならではのリバービジネスで地域を元気にするため、越前若狭は、水辺の「Re」を楽しく実践中！

越前若狭の水辺は、WEAK POINT から COOLPOINT へ

Re:Ver. →



MIZBERING
越前若狭

ミズベリング
越前若狭会議 2nd STAGE

2016.3.17(木) 13:10開演
福井県国際交流会館
地下1階多目的ホール

<講演>
水都大阪パートナーズ・プロデューサー 京都府 京都府 京都府
国交省水管理・国土保全局河川環境課課長補佐 田中里佳

<ワークショップ>
「参加者すべてで作上げる越前若狭のかわまちづくり」

参加者募集中!

■主催者：リバビズ大学 in 日野川流域交流会

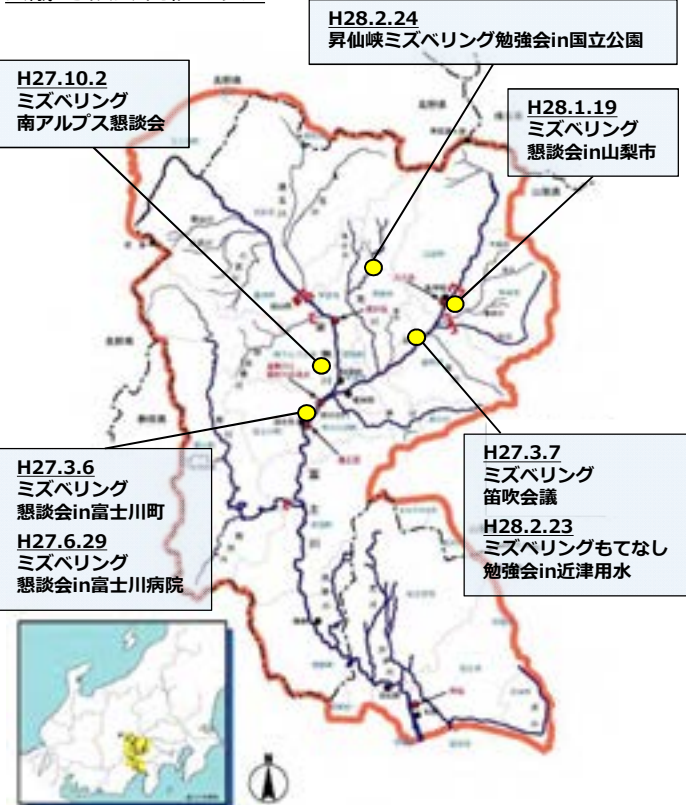
■問合せ先：日野川流域交流会事務局（環境文化研究所内）【TEL：0778-25-6051】

- E-mail：hinogawa@geology.co.jp
- ホームページ：http://www.geology.co.jp/weblog/hinogawa/
- Facebook：https://www.facebook.com/riverbiz/

- 活動している水辺：富士川水系
- 第1回開催状況：平成27年 12月16日（水）約50人参加

ミズベリング研究会について

富士川水系 ミズベリング
会議・懇談会 開催マップ



研究会の目的

富士川水系の水辺とまちの未来を創造していくための取り組みを推進していくためミズベリングに関する情報を関係者で共有し、産官学との連携のあり方と人材活用方策について調査・研究を行う。

富士川水系ミズベリング研究会の構成



※事務局 特定非営利活動法人 <http://www.ucon-yamanashi.jp/>
研究会事務局サポーター参加
地図総合コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ
野村総合研究所 有志代表 古川 和年
フェリス学院大学 情報センター専任講師 内田 奈津子

第1回 富士川水系ミズベリング研究会の開催！



山日YBS(テレビ局)内

意見交換会のテーマ

- 研究会の目標
 - ①水辺を楽しむ人を増やす・育てる
 - ②水辺で街を変える人を増やす・育てる
 - ③水辺で新しいビジネスを作る人を増やす・育てる
- 以上の目標を達成する為の効果的な取組方法について**

○主な意見

- ・学生発表の場が重要
- ・異業種交流の場は貴重
- ・持続的な取り組みが必要、等



司会 研究会事務局
山梨県立大学 佐藤特任教授



研究会 座長
山梨大学 風間教授



甲府河川国道事務所
田中事務所長



(株) JTB関東
久保田マネージャー

大学生観光まちづくりコンテストの発表内容・指導教員の講演

山梨県立産業技術短期大学校



チームこぴっと
「ピンクのときめきstay～恋する乙女の休日～」
(録画上映)

山梨英和大学



ブランディング研究会チームB
「いかざー、富士川～スポーツツーリズムで広げる健康と観光のミズベリング～」
(録画上映)

山梨県立大学



藤のみなづき
「塩でまちおこし～鯉沢で“えん”joining～」
(学生発表)



山梨県立産業技術短期大学校
観光ビジネス科 田代講師



山梨英和大学
人間文化学部 杉山准教授



山梨県立大学
国際政策学部 吉田教授

研究会参加者

コメンテーター



野村総合研究所 有志代表 古川氏



フェリス女学院大学 内田講師

傍聴参加者



山梨中央銀行 佐野氏



地圏総合コンサルタント 皆川氏



パシフィックコンサルタンツ
高阪氏



昇仙峡観光協会
水晶の博物館 雨宮支配人

<上記以外>

山梨県観光部・治水課、笛吹市、山梨市、富士川町、市川三郷町、YBSグループ
山梨県立大学の学生、県立産業技術短大の学生、フェリス女学院大学の学生

■主催者：甲府河川国道事務所、大学コンソーシアムやまなし

■問合せ先：国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所 調査第一課

・TEL：055-252-8884

・富士川水系ミズベリングプロジェクトHP：

<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/koufu000517.html>

- 活動している水辺：富士川（増穂地区）
- 第1回開催状況：平成27年 3月6日（金）約60人参加



富士川町 増穂地区

富士川
病院

←富士川

富士川町では富士川と人々がふれあい親しむ空間を創っていくため、甲府河川国道事務所と一体となって「富士川町かわまちづくり計画」を進めています。また、富士川河川敷の水辺空間整備による新しい魅力の創出のため、ミズベリング・プロジェクトを活用し、懇談会を開催しました。

さらに、その懇談会の意見を踏まえ、医療や介護に携わる方々にも水辺の新しい活用について考えていただくため、病院内でメディカル懇談会を開催しました。

甲府河川国道事務所は、懇談会で出た「病院からの河畔の景観を向上する」などの意見を踏まえ、新しい水辺の活用に向けて「かわまちづくり計画」を推進しています。

ミズベリング懇談会の開催！



日付：平成27年3月6日
場所：富士川町民会館
参加者：約60名



富士川町長あいさつ
かわまちづくり計画を力説



講演1
「水辺の新しい活用の可能性について」



講演2
「ミズベリング・プロジェクト
について」



意見交換会

ミズベリング・メディカル懇談会の開催！

日付：平成27年6月29日
場所：富士川病院内会議室
参加者：約40名



山梨県立大学
佐藤特任教授



富士川病院
小林病院長



富士川町
志村町長



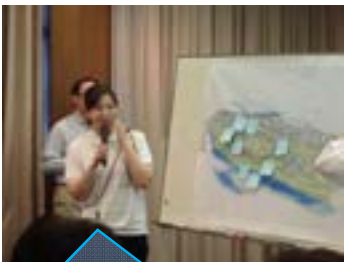
山梨県医療審議会
医務課 松土主任(代)



甲府河川国道事務所
田中事務所長



水管理・国土保全局
藤井河川環境保全調整官



子供たちが遊べる
水場がほしい！



花火の見える高台が
あったらいいなあ



桜並木、スポーツ公園、
散策路、ドッグラン…



会場から頂いた意見

懇談会の意見を踏まえ、かわまちづくり計画を推進



水辺の
陸上競技場



メディカル懇談会の意見を反映

病院から
見える桜



増穂PA

増穂IC

河川防災ステーション

親水公園

富士川病院

富士川町民広場
(陸上競技場等)

釜無川

富士川町の水辺とまちづくりに関する基本方針では、人々が川とふれあい親しめる施設の整備と保全が望まれています。こうしたことから、富士川の自然を活かした、水辺にふれあう自然観察やスポーツ・レクリエーション等を楽しむコミュニティ空間として、中部横断道の増穂PA(平成28年度供用開始予定)に接続する道の駅「富士川」と河川防災ステーションを軸に、富士川右岸を一体的に活用できるスポーツ・レクリエーション交流拠点として位置づけ、水辺空間の有効活用による水辺プラザ整備などの推進を図ることとしています。

ソフト事業としては、富士川の右岸をオープンスペースとして一体的に活用し、イベント時の機材や店舗施設等の占用許可に配慮することを計画しています。また、ハード事業としては管理用通路、護岸等の整備を実施し、治水上及び管理上の安全を図った上で、陸上競技場、河畔林の整備を行う計画をしています。

■主催者：南巨摩郡 富士川町

■問合せ先：富士川町 建設課まちづくり推進室 [TEL：0556-22-7203]

・ミズベリング懇談会in富士川町 ホームページ：

<http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp/chosei/info/machi/mizubering.html>

- 活動している水辺：笛吹川（川中島地区）、近津用水
- 第1回開催状況：平成27年 3月7日（土）約70人参加

笛吹川の石和鶺鴒(徒歩鶺)は八百年の伝統を
今に伝える古代ゆかしい鶺鴒です



川中島地区整備イメージ

笛吹市は、笛吹川の魅力や価値、利用方法を考え、水辺とまちのにぎわいを作ることで、主要産業である観光産業の活性化につなげるため、平成27年1月27日にミズベリング構想を立ち上げました。この構想のコンセプトは、水辺とまちの賑わいをデザインし、「つくる」だけでなく「育てる」ことを意識した創造を推進していくものです。また、この構想を推進していくためには、ひとつづくりや仕組みづくりが重要であり、産官学の関係者と連携して実施していくこととしました。

具体的な取組として、富士川水系ミズベリング研究会への参加、大学生観光まちづくりコンテストへのエントリーなどを行いました。また、それらの取組を行うための最初の取組として、ミズベリングへの関心を高め活動に賛同してくれる人、企業を集めるためのミズベリング会議を開催しました。

甲府河川国道事務所では、この構想の実現に向けたサポートをする取組を行っています。

ミズベリング笛吹会議の開催！

日 付：平成27年3月7日
場 所：笛吹市役所会議室
参加者：約70名



ミズベリング・
プロデューサー 山名氏



笛吹市
倉嶋市長



山梨大学
風間教授



(株)JTB関東
久保田マネージャー



(当時)水管理・国土保全局
藤井河川環境保全調整官



甲府河川国道事務所
田中事務所長



会議に先立ち鶺鴒の実演



笛吹市長あいさつ



ワークショップの主旨説明



ワークショップ結果の発表

笛吹市ミズベリング構想 (H27.1.27発表)

笛吹市ミズベリング構想コンセプト
水辺とまちの賑わいをデザインし、「つくる」だけでなく「育てる」ことを意識した創造を推進する。
・水辺を楽しむ人、水辺で街を変える人、水辺で新しいビジネスを作る人
これらを増やすためのひとつづくりや仕組み作りが重要であり、産官学の関係者と連携して実施していく。

近津用水の「ミズベリング」
・ボートで川下り
・川床(かわどこ)で夏の夕涼み
・真冬の川のイルミネーション
etc...

**足湯カフェ
・マルシェetc**

**馬寄農産物直売所
・直売所etc**

花のミズベ公園 (暫称)

観光客の足湯施設
・足湯
・花火大会の観覧席にもなるよ!
・上流になると花火が大きくなるよ!
・好評を受けながら設備整備

観水護岸・オープンスペース
・観水護岸の多様な使い方

川のイルミネーション
・川の流れが創り出す光の造形を楽しもう!

石和温泉花火大会

**石和温泉駅
イルミネーション**

近津用水の「ミズベリング」

**足湯カフェ
・マルシェetc**

**馬寄農産物直売所
・直売所etc**

花のミズベ公園 (暫称)

観光客の足湯施設

観水護岸・オープンスペース

川のイルミネーション

石和温泉花火大会

観水護岸の多様な使い方

観水護岸・オープンスペース

川のイルミネーション

石和温泉花火大会

観水護岸の多様な使い方

ミズベリング構想の実現へ向けた取組

産官学の関係者と連携

ミズベリングツアー

笛吹川鶺鴒

川のイルミネーション



富士川水系ミズベリング研究会への参画(H27.12.16)

産官学が連携した富士川水系ミズベリング研究会に参画し、山日YBS(テレビ局)内にて開催された研究会の会合に参加した。



大学生観光まちづくりコンテストとコラボ(H27.9.21)

大学生観光まちづくりコンテスト山梨ステージのテーマにミズベリングをコラボすることで、流域全体の活性化を目指した。



笛吹川徒歩鶺鴒のPR(H27.10.10)

甲府河川国道事務所の職員がミズベリング世界会議in大阪に、鶺鴒の格好で参加し、笛吹市の職員も衣装提供を兼ね参加した。



近津用水にて川のイルミネーション

笛吹市の近津用水にて期間限定(平成28年1月30日~3月31日)で川のイルミネーションを設置している。

■主催者：笛吹市

■問合せ先：笛吹市 経営政策部 経営企画課 [TEL: 055-262-4111]

・ 笛吹市ミズベリング構想ホームページ：

http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/shisei/info.php?cat_id=124

- 活動している水辺：釜無川
- 第1回開催状況：平成27年 10月2日（金）約20人参加



南アルプス市に残る霞堤

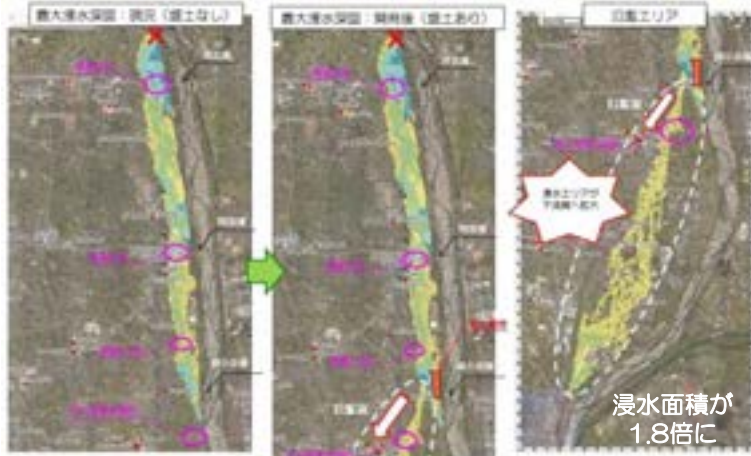
○南アルプス市では、歴史的治水施設である霞堤が今もなお機能していて、超過洪水に対しても減災効果があるということがわかりました。しかし霞堤の機能は土地の開発によって失われつつある状況です。
○そこで霞堤内の土地を、開発規制するだけでなく、賢く利用することで保全できないかということ考えた結果、ミズベリング研究会を活用したプロジェクトが動き出しました。

霞堤を活かした防災まちづくり

○南アルプス市には、歴史的治水施設である霞堤が残されており、上流の堤防が決壊した場合、その氾濫水を再び河川に戻し、氾濫を拡大させない機能が今もなお維持された状況となっている。
○また、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化している状況によりH27年度に水防法が改正され、想定し得る最大規模の洪水への対策として霞堤の減災効果が期待されている。
○しかし、市街化の進展により、霞堤の周辺地域の開発が進むことで霞堤の氾濫戻し機能が失われることが懸念されている中、保全の取り組みを行っている。

◀南アルプス市に現存する霞堤の効果▶

破堤を想定した、はん濫シミュレーションによる検証
（【検証条件例】上高砂地区破堤：鏡中条盛土なし・あり）



◀開発により機能が失われつつある霞堤▶



市街化の進展により、霞堤の機能が失われつつある。
→だが、現存する南アルプス市鏡中条地区の霞堤（将監堤）は洪水時の機能が期待できる。

➡ **霞堤機能の保全が重要**

防災まちづくり×ミズベリング 南アルプス懇談会の開催！

日付：平成27年10月2日
場所：南アルプス市本庁舎
参加者：約20名



コラボイベント開催までの流れ

霞堤を保全するために霞堤内の土地の活用策を提案する。



農地として維持するため地域資源を活用し地域活性化を狙う。



地域資源の観光資源化を目指すイベントを行う。



ミズベリング・プロジェクトの活用

地球いきいきプロジェクト×ミズベリング・プロジェクト
コラボイベントの開催！



「霞堤を活かした防災まちづくりの取り組み視点について」
甲府河川国道事務所
調査第一課 黒沼課長



「富士川水系ミズベリング・プロジェクトの紹介」
甲府河川国道事務所
調査第一課 上林技官



「地球いきいきプロジェクトの紹介」
(株)JTBC関東 地域交流事業担当
久保田マネージャー



今後の取組の進め方についての
意見交換会

地球いきいきプロジェクトの開催！



JTB地球いきいきプロジェクトは、「地域を元気に、人を笑顔に」という理念の元、観光客、地域住民、JTBグループの社員が一体となり、観光地の清掃活動や、地域の文化を学ぶことで地域活性化を目指すJTBグループの社会環境活動（CSR）です。南アルプス市では、平成27年10月25日にミズベリング・プロジェクトとコラボし、歴史的治水施設の清掃活動と武田信玄伝承の治水事業の学習などを行いました。

http://www.jtbcorp.jp/jp/csr/clean/2015/images/report27_report.pdf



＜歴史的治水施設の清掃活動＞
→観光ツアー化？



＜歴史的治水事業の学習＞
→歴史・文化・防災教育



＜蛇籠への石の入れ方＞
→蛇籠への投げ込み体験



＜景観林の保全について＞
→かわまち計画へ

■主催者：南アルプス市、甲府河川国道事務所

■問合せ先：南アルプス市 建設部 都市計画課 [TEL：055-282-6394]

・霞堤を活かした防災まちづくりホームページ：

<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/koufu00457.html>

- 活動している水辺：笛吹川
- 第1回開催状況：平成28年 1月19日（火）約100人参加



山梨市では、まちづくり計画における重点施策として、河川等の身近な地域資源を活かした観光・交流ネットワーク構築、地域振興、防災まちづくり等を推進しています。また、根津橋から亀甲橋の間の万力林を含めた笛吹川で、水辺の新しい可能性を創造していくミズベリング・プロジェクトを進めています。

そこで、山梨市では水辺に関心を持つ約100名に集まっていただき、自由な発想で意見を出し合うミズベリング懇談会を開催しました。今後は甲府河川国道事務所と連携して、かわまちづくり計画を推進していく方針です。

ミズベリング懇談会の開催！



ミズベリング・
プロデューサー
山名氏



山梨市
望月市長



山梨大学
砂田名誉教授



(株)JT B 関東
久保田マネージャー



甲府河川国道事務所
田中事務所長



山梨市 望月市長 あいさつ



甲府河川国道事務所 田中事務所長
ミズベリング・プロジェクトについて



山梨大学 砂田名誉教授
歴史的治水施設(万力林)について

懇談会で出た意見



○会議参加者（団体）

山梨市議会、山梨市13課、山梨県、山梨市観光協会、商工会、万力林保全・再生計画策定委員会、峡東漁業協同組合、笛吹川沿岸堰連合会、加納岩総合病院、日下部記念病院、建設コンサルタント7社、報道3社、山梨大学、県立産業技術短大、フェリス女学院大学

○出た意見

- ・水辺にもっと近づけるようにしたい
- ・河畔林である万力林を保全したい
- ・千鳥の来る砂州を作りたい
- ・パラグライダーのランディングポイントを作りたい
- ・サイクリングコースを整備したい



山梨市 野中理事



赤松を保全したい！

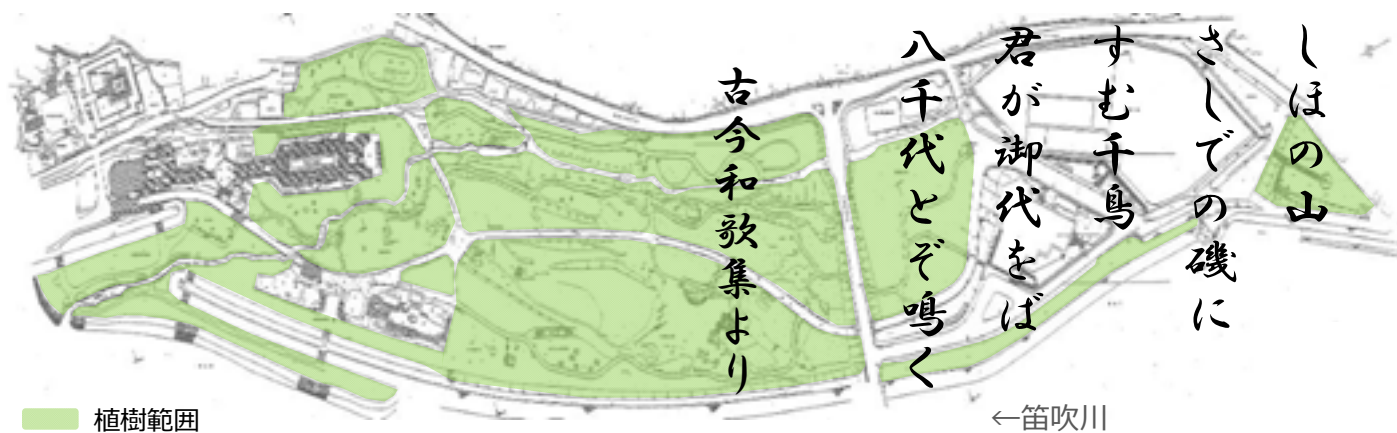


以前は千鳥が来ていた



横浜からフェリス女学院の学生も発言

かわまちづくり計画へ



山梨市では、ミスベリング懇談会の意見を踏まえ、かわまちづくり計画の策定を進めています。万力公園については、水害発生防止と万力林の保全のため、万力公園にて赤松の性能評価や植樹スペースの整備をおこなっていきます。また、笛吹川の河川敷に市鳥である千鳥の生息域、観光資源としての活性化を図るため、河川敷の整備をおこないます。それらに加え、万力公園を観光資源としての活用を図るため、パラグライダーランディングポイントや、サイクリングコースの整備をおこないます。

ハード整備だけでなく、ソフト面においても地元の市民、法人、団体等と連携を図り、万力林保全・再生の為の活動をおこなっていきます。

■主催者：山梨市

■問合せ先：山梨市 まちづくり政策課 [TEL：0553-34-8063]

- 活動している水辺：富士川水系 荒川
- 第1回開催状況：平成28年 2月24日（水）約40人参加予定



去年7月7日、MIZCANを開催し、昇仙峡の未来に乾杯を行った昇仙峡観光協会。
 また、平成28年の2月にはホスピタリティー表現の勉強会を開催しました。水辺にものを作るという発想から一度離れ、人が来たくなる、そしてそこに滞留したくなる観光地にするためにはどうしたらいいのか。東京大学から堀先生をお招きし、もてなしという観点からの地域整備について勉強しました。

MIZCAN昇仙峡観光協会の開催！

日付：平成27年7月7日
 場所：昇仙峡(国立公園)
 参加者：約20名

昇仙峡観光協会の会員約20人が水辺で昇仙峡の未来に乾杯をしました。

これからの昇仙峡は…

「見る」
観光

➔

「体験型」
「参加型」
観光

をを目指す



昇仙峡ミズベリング勉強会in国立公園の開催！

日付：平成28年2月24日
 場所：昇仙峡 ワイン王国2階
 参加者：約40名



昇仙峡の活性化を継続的に研究してくれる
 大学生グループの募集

- 指導教員を含む大学生グループ（6人まで）
- 県外大学生の特典
 - ・ 宿泊場所は昇仙峡観光協会が手配・負担
 - ・ 甲府市内の移動は甲府河川国道事務所が手配

○昇仙峡観光協会HP

<http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

<研究の活動イメージ>

1年目

- ・ 昇仙峡の現地調査・研究
- ・ キックオフイベントの企画
- ・ キックオフイベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

2年目

- ・ 昨年度の課題の抽出
- ・ 現地調査
- ・ イベントの企画
- ・ イベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

3年目

- ・ 昨年度の課題の抽出
- ・ 現地調査
- ・ イベントの企画
- ・ イベントの開催
- ・ 成果発表
- ・ 次年度への引き継ぎ

継続的な研究



ホスピタリティー表現とは

出典：ミツカン水の文化センターホームページ 「水の風土記」
http://www.mizu.gr.jp/fudoki/people/027_hori.html

ホスピタリティー・ディベロップメント

講師 堀 繁
 東京大学 地域資源計画学研究室

- ・ 一番大事なことは、もてなしという観点からの地域整備です。楽しい体験は、持続してリピートになる。
- ・ こうした楽しい体験を生むのは、「歩いてみたい道」「のぞいてみたいお店」「ゆったりくつろげる休憩スペース」等です。つまりは、「私のことを、とても大事にもてなしてくれるという雰囲気」、それがホスピタリティー表現ということなんです。

URL:<http://www.mlit.go.jp/road/tech/jigo/h17/pdf/report17-5.pdf>



写真A：車道よりも狭い歩道幅員
 人を大切にしていないことが伝わる

写真B：車道よりも広い歩道幅員
 人を大切にしていることが伝わる

■主催者：昇仙峡観光協会

■問合せ先：昇仙峡観光協会 [TEL：055-287-2101]

・ ホームページ：<http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

■活動している水辺：狩野川

■第1回会議開催状況：平成26年11月15日（土）@静岡県沼津市 60人参加

かのがわ全域、キラッキラに!!

狩野川は、静岡県天城山系に降った雨を集めて伊豆半島を南から北へ流れる一級河川です。「ミズベリングかのがわ」は、狩野川を存分に楽しむ**チャレンジャー**の集まりです！

第1回会議は、平成26年11月15日(土)、沼津市で開催しました。狩野川でやりたいこと、沼津がもっとおもしろくなる案、いろんな話をしました。



ミズベリングかのがわの沼津での拠点は狩野川の沼津市上土地区です。階段堤が整備されて、ちょうど川を囲むステージのようになっています。

そこを「かのがわ風のテラス」と名付け、地元のおいしい物が並ぶマーケットや、いろいろな演奏イベントが行われています。また、一般の方々もバーベキューをしたりして、いつも楽しんでいます！



風のテラスでは、実験として、樹木の植え込みを抜いて、誰もが川を眺めて過ごせる芝生の場所を作ってみました。



半年で



狩野川の楽しみは、よい上流へ!! そして港へも! <上流アクティビティ & みなとオアシス沼津>



ミズベリングかのがわ 第2回会議!

第2回会議開催状況：平成27年11月23日（月・祝）@静岡県伊豆の国市 65人参加

狩野川 中・上流域の静岡県伊豆の国市で開催された第2回会議。
 今回の主役は、伊豆の国市の中学生たちでした!

中・上流域では、川の流れ方は沼津とはまた違ってきます。自然豊かな狩野川 中・上流域をどうやって楽しむか! 考えました。

ミズベリング
GOっ!!



狩野川で泊まって楽しむ! 楽しめ!!

お花見でカヌー
橋までカヌー
川で楽しむ!



出てきたのは、四季折々のカヌー体験や川べりで寝泊まりなど、狩野川そのものに触れて、楽しんじゃおうというアイデア!



沼津港が「みなとオアシス」制度に認定されて、もう8年。カヌーで狩野川を下って、海まで行って、沼津港へ回っちゃうのも、おもしろいかも!! 川へ遊びに行ったのに、お土産は海産物! なんてことに!



沼津港の名物は、おいしいアジの干物!

…などを、これから、ほんとに実施するために、具体的な行動を考え中です。もうすぐ暖かくなるから、いろいろ楽しくなってきますよー。

そして、これからの「ミズベリングかのがわ」は… ミズベリングかのがわ 第3回会議へ!!

沼津市あげつち地区は、楽しいイベントがいつも繰り広げられている場所になりました。狩野川沿いではいろいろな整備が進み、美しい水辺への関心もますます広がりつつあります!



■主催者：ミズベリングかのがわ会議事務局（沼津河川国道事務所）

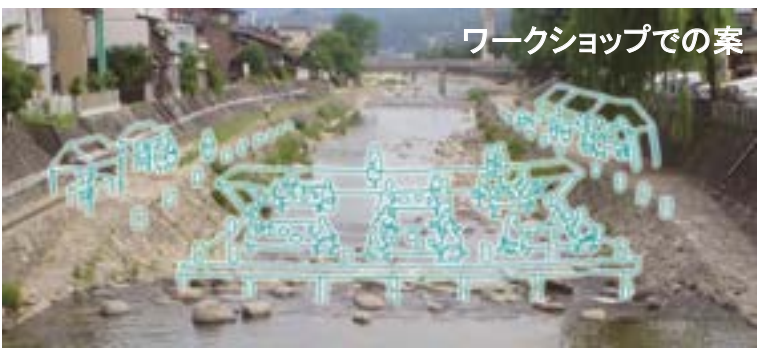
■問合せ先：国土交通省沼津河川国道事務所河川管理課【TEL：055-934-2011】
 ・E-mail：cbr-nmz-kawakan@mlit.go.jp
 ・Facebook：MIZU中部 <https://www.facebook.com/mizuchubu>

- 活動している水辺：宮川
- 第1回開催状況：平成27年 4月24日（金）60人参加

★身近な河川環境の「おもむき」を感じる事をテーマに活動中。

【4/24 ミズベリング飛騨高山会議】

ミズベリングの皆様をお招きし講演後、
どんな水辺が楽しいかを ワークショップ形式で実施。



【8/3・4 川床イベント開催】

2日間限定の川床や飲食ブースを設営し、身近な川の「おもむき」を感じるイベントを開催。2日目は雨天により途中中止とするも多くの来場者で賑わう。

当日までの様子はFacebook「川床を楽しまナイト」で発信中。
<https://www.facebook.com/kawadokonight/>



■主催者：公益社団法人高山青年会議所

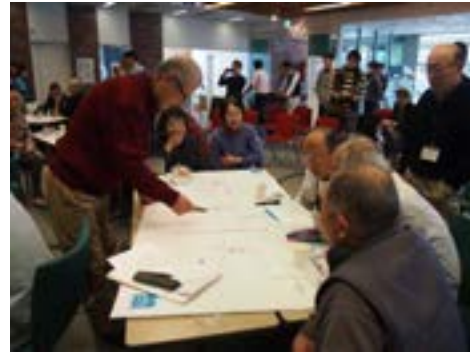
■問合せ先：担当（住）※現在他運営組織の立上げを検討中。

- E-mail：shozo@takayama-dp.com
- ホームページ：なし
- Facebook：https://www.facebook.com/kawadokonight/

- 活動している水辺：瀬田川
- 第1回開催状況：平成27年 3月22日（日）60人参加

ミズベリング大津 瀬田川会議を平成27年3月22日（日）に開催。瀬田川のミズベに興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と新しい賑わい生み出すムーブメントを起こすワークショップを実施しました。

60名の方々にご参加いただき、たくさんの「瀬田川の未来のカタチ」アイデアが溢れ出ました!!!



- 主催者：ミズベリング大津・瀬田川会議事務局（琵琶湖河川事務所）

- 問合せ先：琵琶湖河川事務所 077-546-0844
- ・E-mail：biwakokasen@kkr.mlit.go.jp
- ・ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/

- 活動している水辺：西の湖
- 第1回開催状況：平成27年 9月27日（日）54人参加



■ミズベリング近江八幡会議の開催趣旨

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の一環として、滋賀県立大学や近江八幡市ならびに地域の事業団体等と連携し、地域人材育成拠点「地域デザイン・カレッジ」の運営や学術志向にとらわれない地域志向研究「公募型地域課題研究」に取り組んでいます。

これらの活動や研究の報告を含め、西の湖から八幡堀へと続く水辺空間の活用のあり方について考える「ミズベリング近江八幡会議」を開催しました。他地域での取り組みや規制緩和等の具体的な事例にも学び、地域活動者や有識者、学生らと共に、近江八幡の水辺の活用について具体的なプロジェクトを議論しました。

■西の湖について

近江八幡市の中心であり、安土と近江八幡の境界に位置する西の湖。古来より水上交通の要所として人々を支えてきました。水位の変化・戦後の干拓事業などにより、現在の西の湖の形が形成されています。約400種類の植物、約120種類鳥類、約50種類の魚介類が現在も生息しており、琵琶湖の内湖としての浄化機能を担保しています。西の湖は、国の重要文化的景観第1号やラムサール条約登録湿地、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観～祈りと暮らしの水遺産～」に選定されています。



■西の湖活用に関するこれまでの取り組み

- 旧近江八幡市と旧安土町の合併（平成22年3月21日）
- まちづくり四者連携協定締結（平成23年4月15日）
- 近江八幡まちづくり懇話会設置（平成23年6月14日）
- 近江八幡まちづくり会社検討委員会（平成24年9月）
- 「株式会社まっせ」設立（平成25年6月7日）
- >西の湖を軸とする地域活性化事業に着手
- 近江八幡まち・ひと・しごと創生市民会議（平成27年3月～）
- ミスベリング近江八幡会議 開催（平成27年9月27日）

○近江八幡まち・ひと・しごと創生市民会議

～観光地域づくり部会の取り組み～

平成27年3月から約半年間、市民参加による4回の委員会では、近江八幡の魅力やポテンシャルから、拠点を選定しその場所の未来像や今後の可能性について、アイデアを募り吟味し、「西の湖廻遊路計画」として下記の大きな方向性・ビジョンをまとめました。



河川敷の自転車道



西の湖南サイクリングロード沿い



西の湖湿地公園周辺



■主催者：近江八幡デザイン・カレッジ（滋賀県立大学、近江八幡市、近江八幡商工会議所、安土町商工会、まちづくり会社(株)まっせ)

■問合せ先：まちづくり会社(株)まっせ [TEL：0748-47-2045]

- ・ E-mail：info@massee.jp
- ・ ホームページ：http://massee.jp
- ・ Facebook：https://www.facebook.com/massee.jp/

- 活動している水辺：淀川、大川、土佐堀川、堂島川、東横堀川、木津川、道頓堀川、安治川
- 開催状況：平成26年10月11日（土）・12日（日）150人参加

◆水辺の新しい活用・可能性を考え、創造していく「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、大阪会議が10月11日（土）、12日（日）の2日間にわたって開催されました。

◇10月11日（土）13:30～18:00

水辺セッション 会場：堂島リバーフォーラム

◇10月12日（日）10:30～16:00

水辺スクール 会場：八軒屋浜、北浜テラス、道頓堀クルーズ

○水辺セッション 11日(土)

3つのテーマでワークショップが行われ、各テーマごとにパネリストから、これまでの水辺のアクションや、水辺の未来についての情報が提供され、水辺の文化、ビジネス、市民参加について意見が交わされました。

130名の参加者は、それぞれの視点で水辺を活かすアイデアを出し合いました。



① ミズベのアクティビティ・セッション

－水辺をまちの舞台にする活動をあつめよう－

水辺を舞台に何ができるか。

光のまちづくり、文化・アート、メディアのプロフェッショナルが意見を交わしました。



② ミズベのビジネス・セッション –水辺で楽しい時間を過ごす場所をつくろう–



船やレストラン、アートによる地域の活性化など、ビジネスに繋がる水辺を議論しました。



③ ミズベのシビックプライド・セッション –水辺に人が集い語らうしくみを考えよう–



市民によるおもてなしの方法やまちづくり・都市開発、川をきっかけに未来を創造する考え方について意見交換しました。



◆ワークショップ振り返り



各セッションで参加者から出されたアイデアを会場の皆で共有し、意見交換を行いました。参加された皆さんそれぞれの活動のヒントを、得ていただきました。また、今後の活動についての宣言も行いました。

○水辺スクール 12日(日)

2日目は、中之島公園を散策し、北浜テラスでランチ、八軒家浜から道頓堀をクルーズして、水辺を活用した店舗・商業施設など、様々なプロジェクトについて主催者に話を聞く、非常に濃い体験していただきました。



■主催者：一般社団法人 水都大阪パートナーズ

■問合せ先：一般社団法人 水都大阪パートナーズ [TEL：06-6444-3110]

・ホームページ：<http://www.suito-osaka.jp/>

- 活動している水辺：淀川、大川、土佐堀川、堂島川、東横堀川、木津川、道頓堀川、安治川
- 第1回開催状況：平成27年10月9日（金）～11日（日）1,100人参加

- ◆2015年10月9日～11日の3日間にわたり、「ミズベリング世界会議in大阪」を堂島リバーフォーラムにて開催。
- ◆国内外の水辺で活動する方々、トップミズベラーが集結し、先進的事例の発信、水辺の未来・展開について議論されました。



○ミズベシンポジウム 9日(金)

サンアントニオ、バンコク、パリ、そして大阪の4都市のミズベキーマンより、それぞれの魅力溢れるミズベの事例、つかいこなしが披露され、活動を支える仕組みやこれからについて議論されました。



参加者 約500名



○ミズベワークショップ 10日(土)

国内で活躍する、30名を超える「トップミズベラー」が集結し、「見つける」「伝える」「設える」「育てる」「広げる」の5つのキーワードでワークショップを展開。



参加者 約300名



・WSで出たアイデアを、ブックに整理して配布

○ミズベ未来アクション 11日(日)

「大学連携・学生発表」関西を中心とした大学生が、「水」「アーバンデザイン」「IT/スマート」をテーマに未来の水辺デザインを発表。

「基調講演・バトルトーク」基調講演、学生発表を聞いた後、民間・識者・行政からの豪華パネリストによる、バトルトークを実施。

それぞれの立場から、水辺の今後・未来像について様々な見解・意見が出されました。



学生発表



表彰状授与



山田整備局長挨拶



○ミズベ体験プログラム

ミズベリング世界会議と合わせて、ミズベ日本一！の水都大阪をお得に体験できるプログラムが盛りだくさん！ミズベリング世界会議 in OSAKA の開催に合わせて、淀川や大阪市内の水辺を体験・満喫していただける様々な体験プログラムを展開しました。

ミズベラバーズパーティー in 水都大阪



ウェルカムナイトパーティ



限定招待大阪ナイトクルーズ



淀川大堰・毛馬開門見学会



■主催者：ミズベリング世界会議運営会議

■問合せ先：国土交通省 近畿地方整備局 河川部河川環境課 [TEL：06-6942-0608]
・ホームページ：<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyou/index.html>

- 活動している水辺：淀川（河川公園十三地区）
- 第1回開催状況：平成27年 9月19日（土）約300人参加

～あなたの“+”が新しい淀川の魅力をつくる～

淀川は関西随一の河川として、滋賀、京都、大阪をつなぐ豊富な水と自然に恵まれた河川です。この魅力ある河川を、市民の憩いの場、新たな大阪・関西の観光拠点として活性化していくため、「淀川アーバンキャンプ2015」を開催し、新たな淀川の魅力づくりに向けた第一歩をふみだしました。

淀川に様々なツールやアイデアの“+”を試みたアーバンキャンプ。今後も、地域団体や民間企業等とともに、さらなる“+”の魅力づくりを進めていきます。



【淀川】
琵琶湖を水源とし、滋賀、京都を経て大阪湾に流れ込む

【淀川アーバン・キャンプ】

都心にいながら自然を楽しむ、都市型のアウトドアアクティビティ体験



●アーバンキャンプ・キッチン



非常時にも活躍するロケットストーブを使って、みんなでおいしいアウトドア料理体験！



●キャンピング・バー



グランピングテント内にキッチンカウンターを設置したバー。キャンプファイヤーも！



●水辺アクティビティ



超大型メガサップボード体験、
小型ボート操縦体験で
淀川を満喫。



●淀川クルーズ



梅田のビル群の夜景を眺め
ながら、淀川の水面を楽しむ
クルーズ。



●参加者アンケート

<淀川で楽しみたいこと>

- 1位 カフェ、レストランなどの飲食施設
- 2位 クルーズなどの水辺アクティビティ
- 3位 景色や夜景を楽しむ憩いの場
- 4位 キャンプサイト
- 5位 マルシェやフリーマーケット

<淀川にほしいもの>

- 1位 トイレ
- 2位 アクティビティのレンタルサービス
(テント、イス、テーブル、ランタン、自転車など)
- 3位 水道
- 4位 電源
- 5位 飲食のデリバリーサービス

●キャンプ・トーク ～淀川“+”の可能性

夕方から夜にかけて刻々と変化する大阪・梅田のビル群をバックに、キャンプファイヤーが灯ったアーバンキャンプサイトを眺める淀川の堤防で、ゲストスピーカーと参加者が、淀川“+”の可能性を話し合いました。



●「淀川活用ガイド」を作成

～あなたも淀川に“+”してみませんか？

民間事業者による賑わいづくりを積極的に受け入れ、「淀川アーバンキャンプ」を進めていこうと、「淀川活用ガイド」を作成・配布しています。

【十三地区の賑わい拠点イメージ(右側)】
ブリッジパークなど、シンボル空間の創出を提言
(平成27年2月、大阪商工会議所)



■主催：大阪商工会議所 共催：国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所

■問合せ先：

大阪商工会議所域振興部 TEL：06-6944-6323 E-mail：chishin@osaka.cci.or.jp
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所 TEL：072-843-2861

- 活動している水辺：宍道湖
- 第1回開催状況：平成26年 11月29日（土）60人参加

水の都、松江。
豊かな水辺が地域を支え続ける。
未来もそうあってほしいから、
今、水辺を振り返ってみよう。



宍道湖に沈む夕日

未来の水辺を考える場所、
ミズベリング松江会議で
ひとびとをつなげてみよう。
いっぺん、やってみーか。



宍道湖の未来を妄想するワークショップ

松江会議やってみたら、ミズベに友達ができた。
みんなミズベが好きで、ミズベにたくさんの思いがあった。
その思いは変わらず、新しいチャレンジが始まっている。



嫁ヶ島に向かって愛を叫ぶ



松江でも「ミズベリング・ゴー」

■主催者：ミズベリング縁、NPO法人水の都プロジェクト協議会

- 問合せ先：ミズベリング縁（出雲河川事務所計画課内） [TEL：0853-20-1761]
- E-mail：izumo@cgr.mlit.go.jp
- ホームページ：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/mizube/mizbering/index.html
- Facebook：「ミズベリング縁」で検索

山陰のミズベをつなげる「ミズベリング縁(えにし)」 説明書

- 山陰のみなさんと一緒にミズベのアイデアやチャレンジを考え、人をつなげ、コーディネートしながらミズベを盛り上げていく、行政だけでなく民間・NPOなども参加するチームです。
- 事務局は国土交通省出雲河川事務所に設置しています。
- ミズベを考えるときは、肩書きを捨て、まじめに面白いことを考えます。
- 毎週金曜日には定例会を開催し、お茶を飲みながらミズベを考える場所があります。
- たまに出張定例会も開催し、地域のみなさんとの新しいつながりを探しています。
- 定例会で語りきれないところは、お酒の時間も作り、つながりを深めています。
- つながりが広がると仲間が増えて、少し安心します。
- つながりを深めると具体的なアクションに発展することがあります。
- ミズベであれこれしてみたいとき、お悩み相談したいとき、まずは、ミズベリング縁をご利用下さい。



ミズベリング縁定例会



出張定例会のあとの「つながり」



アクション① (宍道湖で湖上ゴザ走り)



アクション② (尾原ダムで浴衣とSUP)

■主催者：ミズベリング縁、NPO法人水の都プロジェクト協議会

■問合せ先：ミズベリング縁（出雲河川事務所計画課内） [TEL：0853-20-1761]

- E-mail：izumo@cgr.mlit.go.jp
- ホームページ：http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/mizube/mizbering/index.html
- Facebook：「ミズベリング縁」で検索

- 活動している水辺：旭川 後楽園派川
- 第1回開催状況：平成27年10月31日（土）約100人参加

旭川では、地域の経済界や大学、関係行政機関が一緒になって、水辺の利活用や岡山後楽園、岡山城周辺を中心としたまちづくり、それらと連携した旭川全体にわたる川づくり等について意見交換を行い、今後の河川整備やまちづくりに資する旭川の水辺再生戦略を検討するため、「岡山市中心部における旭川水辺空間再生に向けた戦略会議」（略称：旭川水辺再生戦略会議）を設置しています。

旭川水辺空間の再生には市民・NPO等との連携・協働が不可欠であるため、市民や岡山を訪れる皆さんに、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川に親しんで頂くとともに、「かわ」と「まち」づくりについて一緒に考えることを目的とした「ミズベリング岡山旭川」を開催しました。

天候にも恵まれ青空の下、「桜の植樹・オープニングイベント」「旭川かわまちウォーク」「カヌー体験」などにより旭川の水辺が持つ魅力を身近に感じていただきました。

ワークショップでは、水辺利用に関してのトークセッションの後、旭川と岡山城・後楽園周辺のまちづくり、川づくりについて、「集う・憩う・楽しむためのアイデア」を共通テーマとして討議を行い、水辺への緩やかなスロープの設置、エコツアー、巨大な桃を浮かべる、屋形船などの舟運、ベンチ・オープンカフェなどの休憩所を設ける、アイデアコンペ開催など様々なアイデアをいただきました。

今後は、ミズベリング等のにぎわい創出イベントを継続するとともに、これらのアイデアを活かし、「安全・安心な市民の憩いの空間、岡山後楽園・岡山城と一体となった魅力ある空間としての旭川の再生へ！」を目指して、市民・NPO等のみなさんと連携・協働して、岡山城・後楽園周辺のにぎわいの拠点づくりに取り組みます。

水辺の体験



かわまちウォーク



カヌー体験



オープンカフェ社会実験

ワークショップ

廃校を活用して地域のコミュニティの場を再生する活動を実施中の旧内山下小学校で開催！！



ワークショップの状況



集合写真

- 主催：ミズベリング岡山旭川実行委員会（岡山市、岡山大学、岡山商工会議所、岡山県、国土交通省岡山河川事務所、NPO法人ENNOVA OKAYAMA、岡山カヌークラブ、（公財）岡山市公園協会、（公社）おかやま観光コンベンション協会）
- 後援：旭川南部漁業協同組合連合会

■問合せ先：中国地方整備局 岡山河川事務所 調査設計課【TEL：086-223-5187】

- ・E-mail： info-okakawa@cgr.mlit.go.jp
- ・ホームページ： <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/mizbering.html>

- 活動している水辺：太田川 市内派川
- 第1回開催状況：平成26年10月18日（土）51人参加

広島市は太田川の6本の派川が流れる水辺のまちであり、これまでも『水の都ひろしま』構想を立ち上げ、「つかう」、「つくる」、「つなぐ」を基本とした20の方針をたてて水辺の活性化に取り組んでおり、太田川では、全国で初めての「水辺のオープンカフェ」や連続的な河岸緑地の整備を行うなど、水辺活用先進都市となっています。

そこで「水辺を楽しまなきゃもったいない！」をテーマに、平成26年10月に中国地方初のミズベリング会議となる「ミズベリング広島会議」を開催しました。

第一部では、広島市内を流れる太田川でカヌーやSUP(スタンドアップパドル)、雁木タクシーや遊覧船による水辺の遊びを体験。

第二部のワークショップでは、事務局の呼びかけに賛同し参加した地元大学生を中心に、活気ある意見交換が行われ、新たな水辺の魅力、賑わいの期待が持てるような暮らし、レジャー等に関する大胆で奇抜なアイデアが多く飛び出しました。

今後、更にワークショップ等により、その意見や提案を具体化させ、更に『水の都ひろしま』において、まちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出を進めて行きたいと考えています。

(第一部)水辺の遊び体験



遊覧船(原爆ドーム周辺)



SUP体験



水辺のコンサート(元安川)



オープンカフェ(京橋川)

(第二部)ワークショップ



ワークショップ討議状況



集合写真

- 主催：ミズベリング広島会議事務局（中国地方整備局河川部河川計画課）
- 協力：広島県、広島市、公立大学法人広島市立大学、NPO法人ひろしまジン大学、NPO法人雁木組、NPO法人元気むらさくぎ、一般社団法人三次市観光協会、(株)アクアネットサービス

■問合せ先：中国地方整備局 河川部河川計画課 河川環境係【TEL：082-221-9231】

- ・E-mail： riverenv@cgr.mlit.go.jp
- ・ホームページ： <http://www.cgr.mlit.go.jp/mizbering/index.html>

- 活動している水辺：吉野川・旧吉野川・今切川
- 第1回開催状況：平成26年 11月27日（木）37人参加

吉野川水系ミズベリング徳島会議 ～未来創造型アイデア会議～

「水都徳島で水辺のアクションが増えれば、街はもっと輝く」という思いから、今回、徳島で、「吉野川・旧吉野川・今切川」の水辺空間を生かした地域づくりのための「吉野川水系ミズベリング徳島会議」を開催しました。

水辺利用を考えている皆様から「吉野川・旧吉野川・今切川の水辺利用」について、意見交換を行い、「未来の川づくり」に繋げていくことを目的とするもので、様々な方面から水辺空間の創世に興味のある方々総勢37名の参加のもと、常識にとらわれない自由な発想から、多くの意見や「夢」が語られました。

会議で語られた意見や夢

- ・水辺の砂浜、川へ飛び込める滑り台、川で泳ぎたい。
- ・「おしゃれ」で「はなやかな」仕掛け。水上での音楽会。水辺のカフェやレストラン。
- ・橋全体に派手なイルミネーションやライトアップ。護岸にLED埋込、橋の下にトリックアートなどを描くなど目を引く取り組み。
- ・旧吉野川や今切川には浮き桟橋の設置。船で行ける店（川の駅・食事が出来ること）。
- ・吉野川の河川敷でヤギやポニーの放牧。
- ・水辺にはトイレ・電気・水道が必要。
- ・スリルとカッコよさとお笑いをテーマに。ジェットボードをしたり、船の上に潜水艦の上部を重ねた船を作ったりして運航する等。
- ・渡し船の復活や水上飛行機の運航などのイベント。水際物件の価値を高めるしかけをしたい。

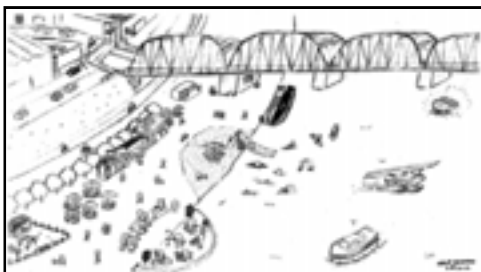


未来の吉野川

水際
コンサート

水辺
ビーチ

水上
飛行機



未来の今切川

水上
レストラン

水上
カフェ

LED
ブリッジ



平成27年度の取組①

水辺で乾杯in新町川

(平成27年7月7日 新町川水際公園)

朗読を聴きながら、
夜の水辺で「乾杯」

7月7日、「水辺で乾杯in新町川」が徳島市中心部の新町川水際公園Ukiうき棧橋周辺で開かれ、約150人の方々が参加しました。

ドレスコードである白いものを身につけた参加者全員が、「タナバタイム」の午後7時7分、原秀樹 徳島市長の音頭で白ワインを片手に乾杯しました。

元四国放送アナウンサーで県内の朗読グループ「風」の主宰である岩瀬弥生子さんをはじめメンバーら4人が「銀河鉄道の夜」などを朗読し、来場者をうっとりさせました。また、マンドリンの演奏などもおこなわれ、七夕の夜を演出しました。

午後8時からは会場のライトダウンをしろウソクの点灯が行われ、幻想的な水辺で仲間達と談笑し、ひとときの涼を楽しみました。

平成27年度の取組②

吉野川水系ミズベリング徳島会議(中流編)

～吉野川中流域の未来を考える会議～

- 活動している水辺：吉野川（中流域：美馬市・つるぎ町・東みよし町・三好町）
- 開催状況：平成28年 1月27日（水）18人参加

今回は、吉野川の中流域に位置する美馬市・つるぎ町・東みよし町・三好市において河川を利用した活動を展開している方々に集まっていただき、それぞれの河川に対する「夢」を語り合いました。

語られた「夢」

- ・この地域(吉野川)の世界遺産登録を目標にする。
- ・子どもの川に関心を持ってもらうような子どもが楽しく遊べる川づくり
- ・梶取船をあげられるような「川の駅」を作る
- ・川に入る通路など子どもが川に入れる環境作り
- ・河川敷でラリーをやりたい
- ・川でイベントをするのにお伺いを立てるのはやめる。
- ・筏の一日復活。美濃田から貞光まで(10km以上)の筏レース
- ・水辺プール、滑り台やロープを使って川に入りやすい楽しい環境作り
- ・吉野川で遊んだ思い出を子どもに作らせる取組をする。

■主催者：NPO法人新町川を守る会・（中流編）水辺の楽校運営協議会

■問合せ先：新町川を守る会〔TEL：090-3738-2084〕

徳島河川国道事務所地域連携課〔TEL：088-654-9175〕

- ・E-mail：（新町川）nposhinnmachigawa@mb2.tcn.ne.jp（徳島）skr-tokusa63@mlit.go.jp
- ・ホームページ（新町川）<http://www2.tcn.ne.jp/~nposhinmachigawa/>
（徳島）<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/>

ミズベリング東みよし会議

徳島県

東みよし町

- 活動している水辺：東みよし町内の吉野川水系（本流+19支流）
- 第1回開催予定：平成28年 3月 6日（日）50人参加予定

東みよし町を南北のエリアに分けるように流れる吉野川。その流域には、徳島県の名勝・天然記念物に指定され、四国の水辺八十八カ所にも選定されている「美濃田の淵」と、かわまちづくり計画に登録されている「三庄地区」という、特徴的な水辺があります。美濃田の淵は、地域の観光資源として、吉野川ハイウェイオアシスを核とする観光開発が進められています。三庄地区は、既に一部が「ぶぶるパークみかも」として、住民のスポーツの場や憩いの場として広く利用されています。



ミズベリング東みよし会議は、観光まちづくりの観点により、町観光セクション内に事務局を設置し、美濃田の淵と三庄地区を中心とした、町内吉野川水系の各流域で既に行われているさまざまな取り組みについて、そのサポートや広報活動を行います。また、各活動主体の相互連携を図るための取り組みや域外のミズベリング活動団体との交流を図る取り組みを行います。



■主催者：ミズベリング東みよし会議実行委員会

- 問合せ先：東みよし町産業課 [TEL：0883-79-5345]
- E-mail：hideto-matsuura@town.higashimiyoshi.lg.jp
- ホームページ：http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/
- Facebook：準備中

- 活動している水辺：那珂川・博多川・薬院新川
- 第1回開催状況：平成27年 2月27日（金）50人参加



福岡地域戦略推進協議会 都市再生部会 ミズベリング分科会では、川(那珂川、博多川、薬院新川)と公園を活かした福岡都心部の魅力向上策について検討しています。昨年度は、現地視察、先進事例視察(広島、韓国:清溪川)等の実施、ワークショップ・セミナー等の開催を経て、水辺の活性化に向けた方策を数多く考えました。

今年度は、これらの方策の中から実効性が高く、かつ担い手が見つかりやすいと思われるものを選定し、具体的な実施施策について検討を進めているところです。

今後、ライオンズクラブ世界大会、水上公園のオープン、博多祇園山笠など、イベントや祭りで多くの人が集う6月～7月中旬を目途に、ミズベリング福岡大会の開催や、水辺活性化の取り組みを実現したいと考えております。



(韓国:清溪川視察)

取り組み内容が確定しましたらミズベリング事務局様を通してご案内させていただきます。その際は、ぜひご来福賜りますよう、お願いいたします。



(ワークショップ)



(福岡水辺活性化セミナー)



(福岡県豊前市:ネコヤナギ視察)

■主催者：福岡地域戦略推進協議会

■問合せ先：福岡地域戦略推進協議会

福岡市中央区天神1-10-1 市役所北別館6階（公財）福岡アジア都市研究所内

・E-mail：info@fukuoka-dc.jpn.com

・ホームページ：www.fukuoka-dc.jpn.com

・Facebook：https://www.facebook.com/FukuokaDC

- 活動している水辺：大分（日田）、福岡（筑後）、佐賀（佐賀）流域
- 第1回開催状況：平成28年 2月18日（木）100人参加予定

はじめよう、筑後のミズベリング

「ミズベリング」とは言わないまでも流域で緩やかな輪（リング）をもつ大分（日田）、福岡（筑後）、佐賀（佐賀）の川。

今回は、ミズベリングセミナーと称して、ミズベリングの勉強会を開催します。

1部 講義 先進地のミズベリング事例と河川法規制緩和について学ぶ

2部 実践 ミズベリングワークショップ

ミズベリング5つのアクション①つなぐ②かたる③ためす④つくるのうち参加者をグループに分け、上中下流、異業種間で①つながって、川の未来を②かたってもらおう。

たとえば、こんなこと…

かつては、舟運で賑わいを奏した若津港（筑後川下流）をとりもどきたい
300年の眠りから目覚めた「矢部川 くすべえ」を知って欲しい
世界農業遺産に認定された山田堰（筑後川中流）をもっと見に来て欲しい。
社会実験中の日田あゆやな（筑後川上流）このままつづけたい。
筏で上流から下流まで下ってみたい。

などなど 夢はたくさん。

筑後川・矢部川流域図



筑後川総延長 143km

矢部川総延長 61km 流域15市町の方々が集う予定

筑後水辺のポテンシャル



■主催者：久留米大学 経済社会研究所 筑後川プロジェクト

■問合せ先：久留米大学（NPO 筑後川流域連携倶楽部） [TEL：0942-33-2121]

- E-mail：kic@kurume.ktarn.or.jp
- ホームページ：
- Facebook：

- 活動している水辺：瑞梅寺川（福岡市西区・糸島市）
- 第1回開催状況：平成27年 11月22（日）・23日（月）27人参加

福岡市西部に位置する瑞梅寺川は、自然と歴史に恵まれた河川です。歴史的には、「魏志倭人伝」に伊都国と古代からの記録が残っており、そして河口の今津干潟は、希少種のカブトガニの産卵・生育地、クロツラヘラサギの越冬地もあります。

<活動内容>

瑞梅寺川は、自然と歴史に恵まれた河川ですが、様々な課題も抱えています。そこで瑞梅寺川流域のあり方を考える方法として「ミズベリング瑞梅寺川会議」第1回を企画、実施した。その目的は「瑞梅寺川流域の山から海までの自然や歴史を探訪し、そのつながりと抱えている問題について再発見する。また、我々の身近にある瑞梅寺川流域や今津干潟の今後の行く末についてディスカッションを行う」とした。

<今後やりたいこと>

- ・大学と連携した河川流域のメカニズムの解明 ・河岸の広葉樹の植林 ・カキ殻の島
- ・カキ礁のブランド化 ・マリンスポーツができる空間創り ・自然と共生できる里海創り

11月22日(日)		11月23日(月)	
10:00~	九州大学系キャンパスCE40号棟2階会議室でレク、情報共有	10:00~	九州大学系キャンパスCE40号棟2階会議室でレク、情報共有
11:30~	キャンパス内の瑞梅寺川流域エリア他見学	11:10~	瑞梅寺ダム見学
13:00~	今津干潟見学 クロツラヘラサギの解説 (九州大学名誉教授小池裕子博士)	12:00~	ランチセミナー 「河川流域の歴史の変遷や水循環基本計画について」 (NPO水フォーラム代表理事竹村公太郎様)
14:30~	瑞梅寺川流域見学	13:30~	今津干潟見学
15:30~	瑞梅寺ダム見学	15:30~	ディスカッション (今津公民館)
16:40~	まとめ		

イベントスケジュール



今津干潟のカキ礁



カブトガニ産卵



クロツラヘラサギの講義



ディスカッションの様子

■主催者：ミズベリング瑞梅寺川会議

■問合せ先：福岡県福岡市西区元岡744番地九州大学W2号館1010号室
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室 清野聡子・穴井貴也
・Tel/Fax：092-802-3437
・Mail：seino@civil.kyushu-u.ac.jp

■活動している水辺：岩原川

■第1回開催状況：平成26年10月26日（日）約70人参加

長崎駅前を流れる小川・岩原川。

この川が存在があまり知られていないのは、
約半世紀に渡り川の上に市場が建っていたから。

3年前、老朽化により市場と暗渠が撤去され、
都心に新たな水辺が現れました。

市は岩原川周辺を「長崎駅と都心を結ぶ重要な場所」
として整備することを決め、

平成25年度に環境整備に関するワークショップを開催。

行政と市民で「岩原川エリアみらい計画」を作成し、
「都心のオアシス」を目指すことに。

岩原川会議はこの計画を市民の立場から応援します。



第1回ミズベリング岩原川会議



【岩原川周辺環境整備】

WSの結果を基に長崎市が河川周辺
の環境整備を行っています。



【岩原川清掃】

市民環境団体や地元住民と一緒に
清掃活動を行っています。



【水辺で乾杯！】

平成27年7月7日「全国一斉水辺乾
杯」に大雨のなか55名が参加！



【エコライフフェスタ出展】

市の環境イベントにブースを設置
して岩原川の魅力を伝えています。



【ミズベリング岩原川女子会】

市役所で働くお姉さんが岩原川周
辺でランチしたりしています。



【写真絵本制作】

正義の味方「イワハラライダー」が
河川環境保全を子供らに伝えます。

■主催者：ミズベリング岩原川会議実行委員会

■問合せ先：長崎都市・景観研究所 [TEL：090-7539-6627]

- E-mail：info@null-project.net
- ホームページ：http://null-project.net/mizbering/
- Facebook：https://www.facebook.com/iwaharagawa

- 活動している水辺：白川
- 第1回開催状況：平成27年 5月16日（土）100人参加

1. ミズベリング白川74 「ミズベリング熊本白川会議」

熊本市民と一緒に考え河川整備を進めてきた白川「緑の区間」の竣工式に併せて、『白川から始まる新しいミズベの未来』をコンセプトに社会実験として『ミズベリング白川74』を実施しました。

この『ミズベリング白川74』は、白川を考えてもらうきっかけ作りとしてミズベリング熊本白川会議を開催し、また、水辺では、カフェ、マルシェ等といった民間事業者による新しい利活用を体感してもらうというものでした。



ワークショップ



ワークショップ



パネルディスカッション



集合写真

白川の未来を語り合うワークショップでは、川のことを熟知している「交番」のような窓口「川番」がほしい。といった面白いアイデアがでました。ワークショップ後は、「理想の白川像」を描いた絵を見ながら、前熊本市長や熊本副市長、熊本大学教授、河川利用団体代表、熊本青年会議所理事長、ミズベリング事務局からコメントをもらい、「水辺から始まる地方創生！！無限に広がる可能性」と題してパネルディスカッションを行い、盛り上がりしました。

1. ミズベリング白川74 「水辺の状況」



オープンカフェ



マルシェ



塘あかり

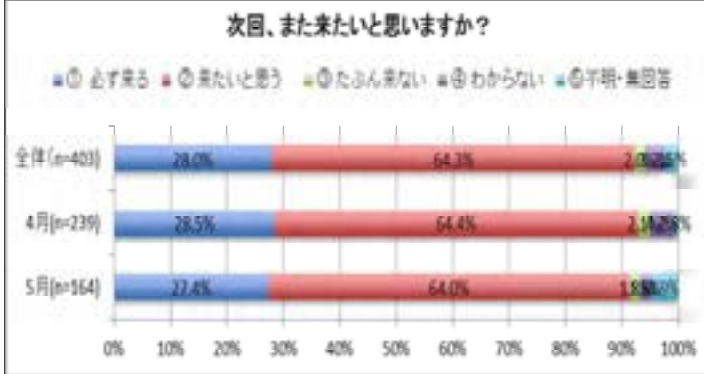
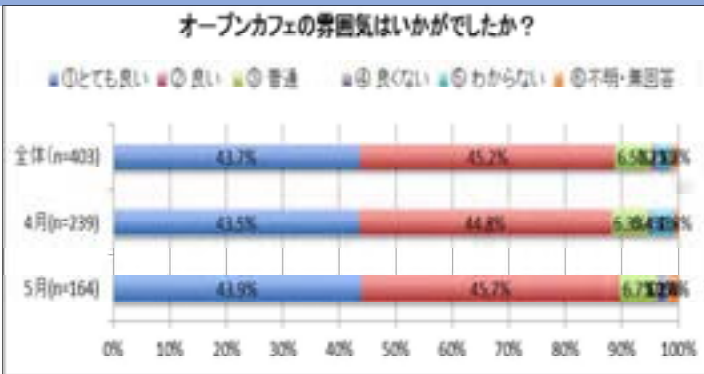


Eボート

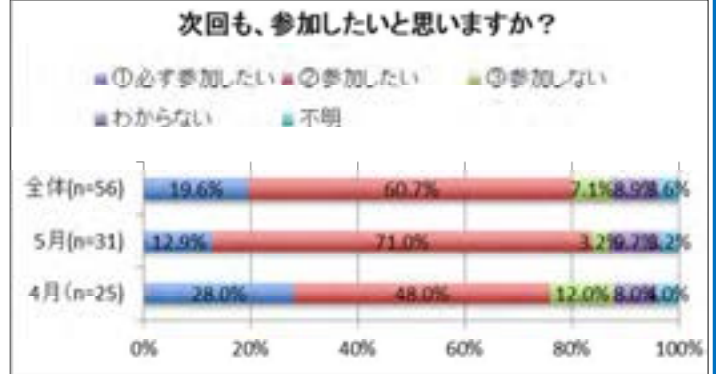
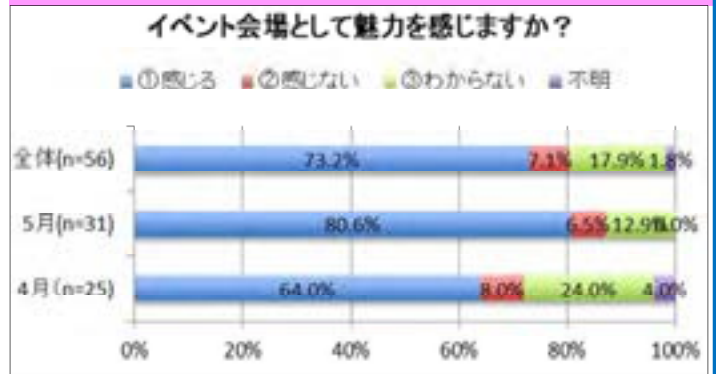
白川の魅力を最大限に引き出すため、水辺のオープンスペースでは、水辺の演奏会、オープンカフェ、マルシェ、Eボート体験といった盛りだくさんの企画で水辺の賑わいを作り出しました。夜には1,000個のキャンドルを使って、熊本大学の学生がデザインした「塘あかり」が水面に映り、幻想的な雰囲気醸し出していました。この取組には4日間で総勢一万人以上の方に来場頂きました。

3. ミズベリング白川74「社会実験のアンケート結果」

アンケート結果（来場者）



アンケート結果（出店者）



4. 都市・地域再生等利用区域の指定に向けて



協議会の様子

ミズベリング白川74及びアンケート結果を踏まえ、今後、日常的に河川敷を活用した民間活動を行うために協議

会を設置しました。協議会メンバーは、地元自治会、中心市街地、大学、経済団体等です。主な検討内容は、ルール作りを行い、都市・地域再生等利用区域に指定することです。

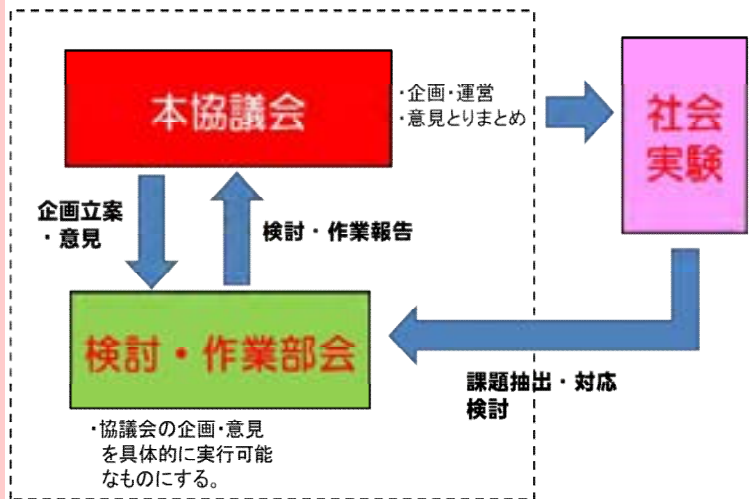
【協議会のキーワード】

- ・本物の公民連携
- ・補助金に頼らない
- ・公共への投資
- ・民間主体

【役割分担】

民間：協議会運営、資金調達、ルール検討等
行政：事務局、アドバイス（法律）

協議会の進め方



※検討・作業部会のメンバーは民間のみ
※社会実験を繰り返しながら検討していく

■主催者：ミズベリング白川74実行委員会

(熊本大学、(一社)熊本青年会議所、地元4自治会、熊本市、国土交通省熊本河川国道事務所)

■問合せ先：国土交通省熊本河川国道事務所 調査第一課 [TEL：096-382-1111]

- ・E-mail：
- ・ホームページ：
- ・Facebook：

- 活動している水辺：甲突川（こうつきがわ）ほか
- 第1回開催状況：平成26年11月13日（木）100人参加

◆ミズベリング鹿児島の目指すべき目標

これからの鹿児島の水辺が「にぎわいや憩い」の空間として地域や市民に親しまれ、私たちのくらしの身近なものとなるような未来の鹿児島の水辺の創出を目指し、積極的な市民参加や民間参画型の「ミズベを育てる」ための取り組みを推進していきます。

◆H26.11.13（木） 鹿児島の水辺の未来を語ろう ～ミズベリング鹿児島会議～ 実施しました。

今後、鹿児島で民間企業を巻き込んだミズベリングを展開していくためには、行政サイドの盛り上がりが必要であることから「ミズベリングって何か？」まずは県内河川・観光行政に携わる職員にこの意義を理解してもらい、近年の水辺の利活用の動向などの情報共有を目的として本会議を開催いたしました。

会議は本省河川環境課の藤井調整官の「川ろうぜ！」の話に始まり、一気に会場がミズベリングムードになると、事務局の山名さんから「一体どこから妄想だった？」のか分からなくなるような、ワクワク盛りだくさんの水辺の活用事例の紹介などをご講演いただきました。

そのほか、県内河川の取り組みの紹介や、今後ミズベリングを展開していく上での課題などについて意見交換を行いました。

参加者からは「川の見方が変わった」「河川行政って楽しそう」「川でこんな事もできるようになったんだ」等、たくさんの嬉しい声をいただきました。



◆H27「ミズベリング鹿児島」の活動状況

ミズベリングを多くの方々に周知するため、県内河川で行われるイベントに参加し、ミズベリングを紹介するチラシ配りや、水辺を考える体験コーナー、案内ブース等を設置し、PR活動を行いました。またH28.2.26には、市民・民間・行政を対象に『かがしま河川ミズベフォーラム』を開催し、「これからの水辺環境と利活用を考える」こととしています。

◆今後の展望

今後もこのようなミズベリング周知活動を続け、民間活力の導入の実現に向けて活動を継続していきます。

■主催者：ミズベリング鹿児島

■問合せ先：鹿児島県土木部河川課治水係 [TEL：099-286-3596]

• E-mail：chisui@pref.kagoshima.lg.jp

• Facebook：https://www.facebook.com/MIZKAGO/

【甲突川の未来予想図】



